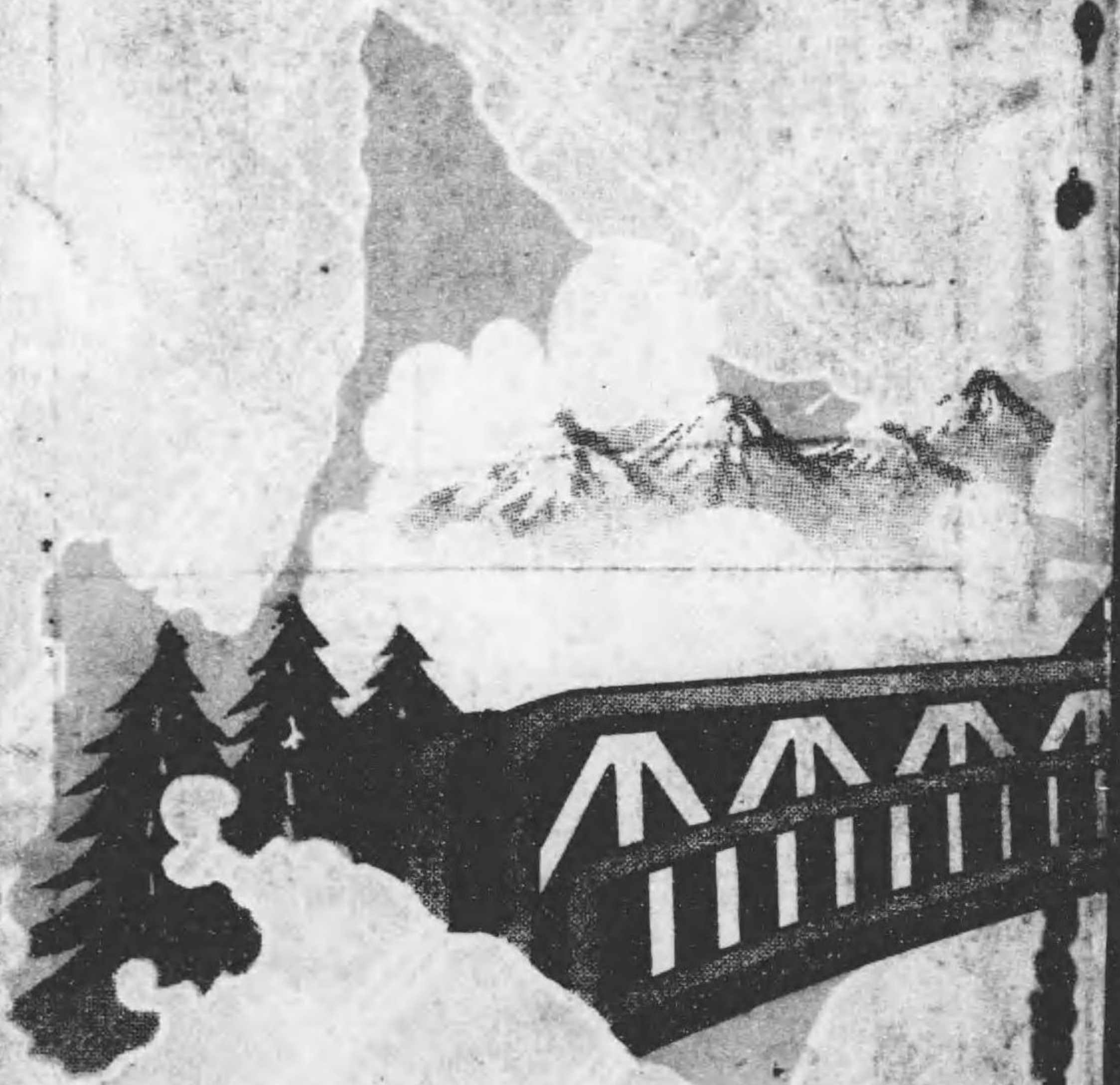


川要覽

特256

274



及職業別優良商店案内



始



特256
274



市女覧



|| 営業課目 ||

オフセット印刷
石版印刷
紙モミ機印刷
活版印刷 其他

印刷は
文化の先驅!

誠堂印刷所

旭川市四條通三十丁目
電話二九九五番



國立公園

—(大雪山)—

層雲峽を是非

御探勝下さい

温泉館 層雲閣

旭川市北海ホテルから
毎日本館迄バスが通つ
て居ります

道産の白眉

★ダイマル

醤油 味噌

多木人造肥料發賣元

井内醬油店 (大)

旭川市一街通三十丁目
電話二〇三番



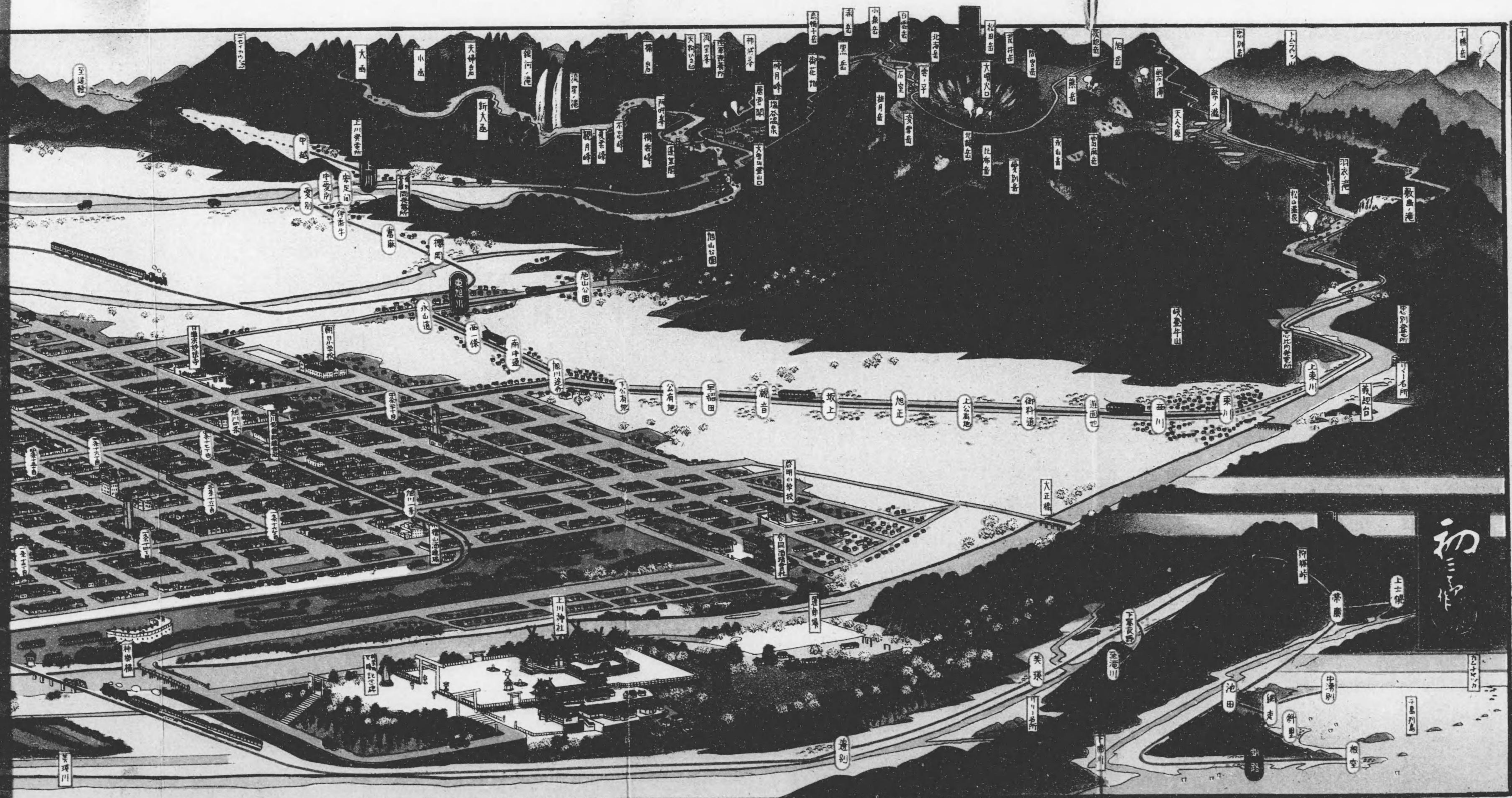
大雪山と層雲峽

▲大雪山... 旭川より東南に望み東西八里、南北六里の廣きに亘る一大山嶽を劃し海抜二千二百九十米、旭嶽をはじめ、北嶽、白雲嶽、後旭嶽、永山嶽、小泉嶽、烏帽子嶽、雲嶽、熊ヶ嶽、比布嶽等、何れも二千米を下らざる數多の火山嶽を擁して全道に山姿の秀麗と變化の妙を誇つて雲表に屹立する連山が北海アルプス大雪火山嶽である。その規模の豪壯は日本アルプスを凌駕すと稱せられ、一千五百米の頂上寒地帯を蔽ふ御花畑の艶美華麗に至りては筆舌の形容遠く及ばず大雪山登山者のみ滿喫する山嶽美である。
登山路... 層雲峽温泉を發し、大雪山の東南角の一峯黒嶽に登つて縦走のコースを辿ると、天人峽松山温泉を出て西北角の一峯旭嶽を先づ征服して連峯を縦走し、鹽谷温泉に下山して踏破の勞を忘るゝ二縦走コースであるが、時間の餘裕と健脚の自信あらば石室を根據に他の行程を探り永山、比布、旭、後旭、白雲、小泉の諸峯を踏破すれば大雪山の抱擁する燎亂たる御花畑の美、壯麗なる原始林の樹海は固より三伏を貫いて猶滅せざる雪田雪溪等の山岳美の精粹は殆ど探勝される。
▲層雲峽と鹽谷温泉... 婉婉百里を驅流を經とし、標高二千米大雪山の秀峯を緯とし、自然美の粹を鑄めて織りなされた仙境が層雲峽である。石狩川の上流大雪山の山脚を劃つて五里の間天に沖する二千尺の斷崖削壁直立し、雪田雪溪に發する溪流は之に懸つて白蛇、流星、銀河、雲井、錦糸の瀧となり雄大神秘の情景は朝鮮金剛山

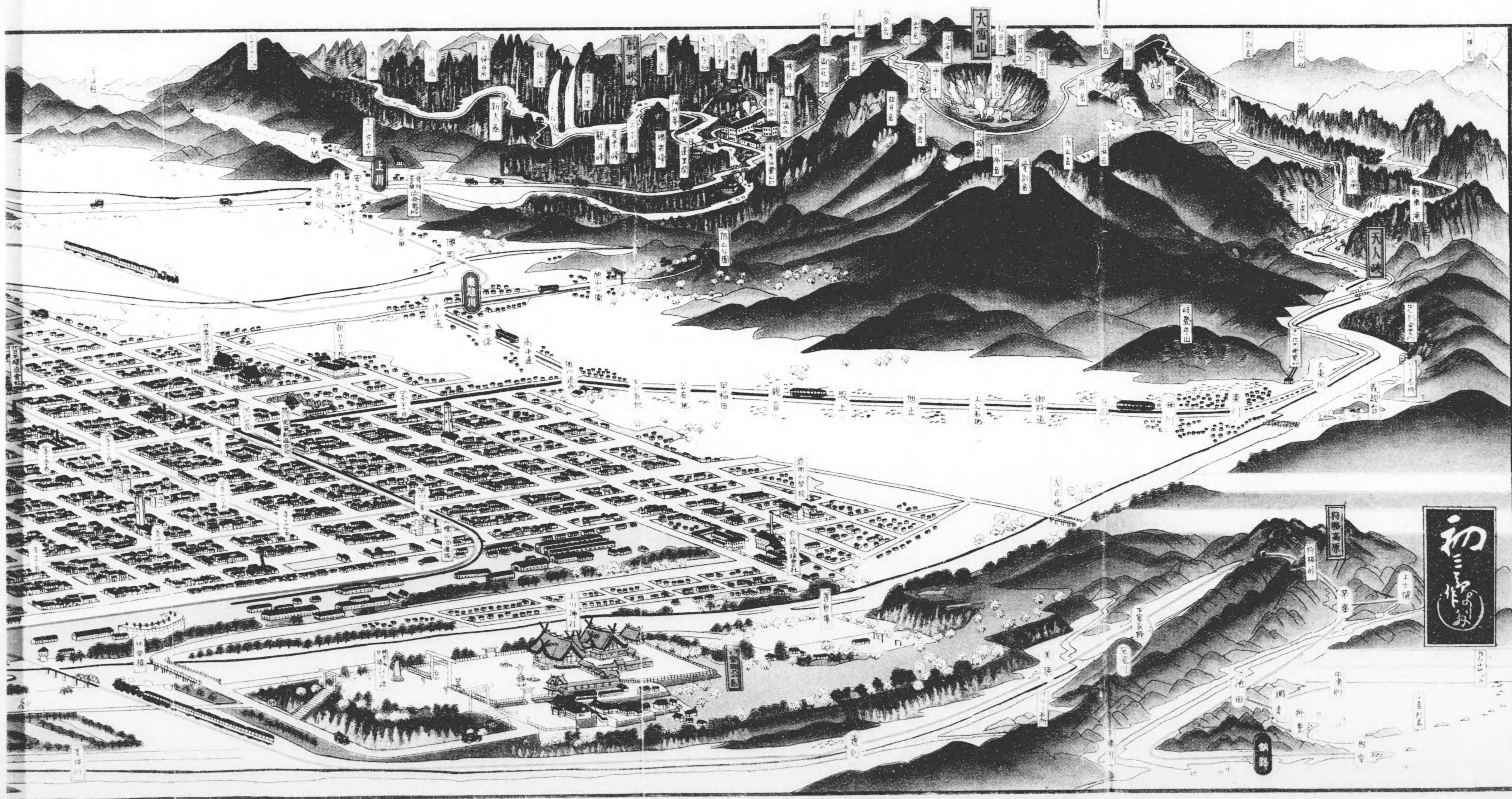
を凌ぎ、變幻の妙はかの上高地溪谷に優ること數等と稱せられてゐる。清瑩豪放瀾となり瀾となる石狩川上流に沿ひ、天を劃する兩岸山嶽の美彌々酣なるところに鹽谷温泉層雲閣あり、湯の清澄豊富とラヂウム含有量に於ては、全道に其の比を見ざる處である。自動車を驅つて旭川より二時間、上川より一時間山峽愈狹つて神氣をそるに登仙せんとする裡に、車は同温泉層雲閣に着くのである。場は絶勝の中心に在り、春は新緑、秋は紅葉に、いと興趣深く銷夏に適し避暑によく山を戀ひ水を慕ひて訪るも其の眞を立證すべく、知名文人墨客の詩歌を描けてその贊とせん。
遠來溪谷奥 朝夕浴鹽泉
瀑布半天落 嶂屏五里連
山高殘雪白 嶽古土花鮮
塵念渾散盡 自疑身是仙 (大町桂月)
天地を造りし神が休み日に
試したまへる手すさびの跡 (尾崎翠堂)
仰見文壇太白星 詞華燦爛筆含靈
今宵大雪山高處 萬丈光芒射四溟 (國分青崖)
中空の戀は捨てけんたをやめの
湧き落つる湯の香いさよふ霞霞時
靈光の湯の夢心地かな (馬場孤蝶)
此の奇峽 鹿來すなりて月淋し (句 佛)



露光量違いの為重複撮影

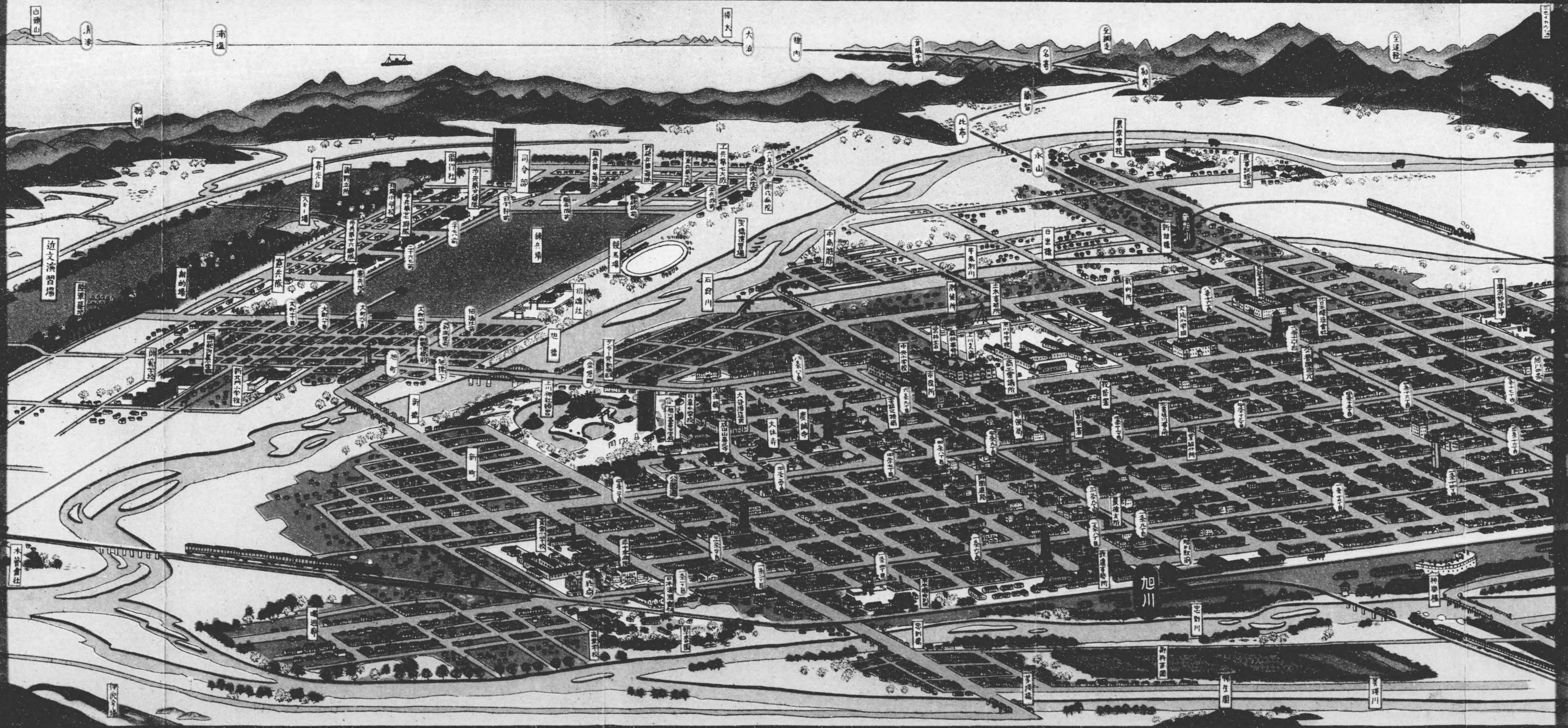


露光量違いの為重複撮影

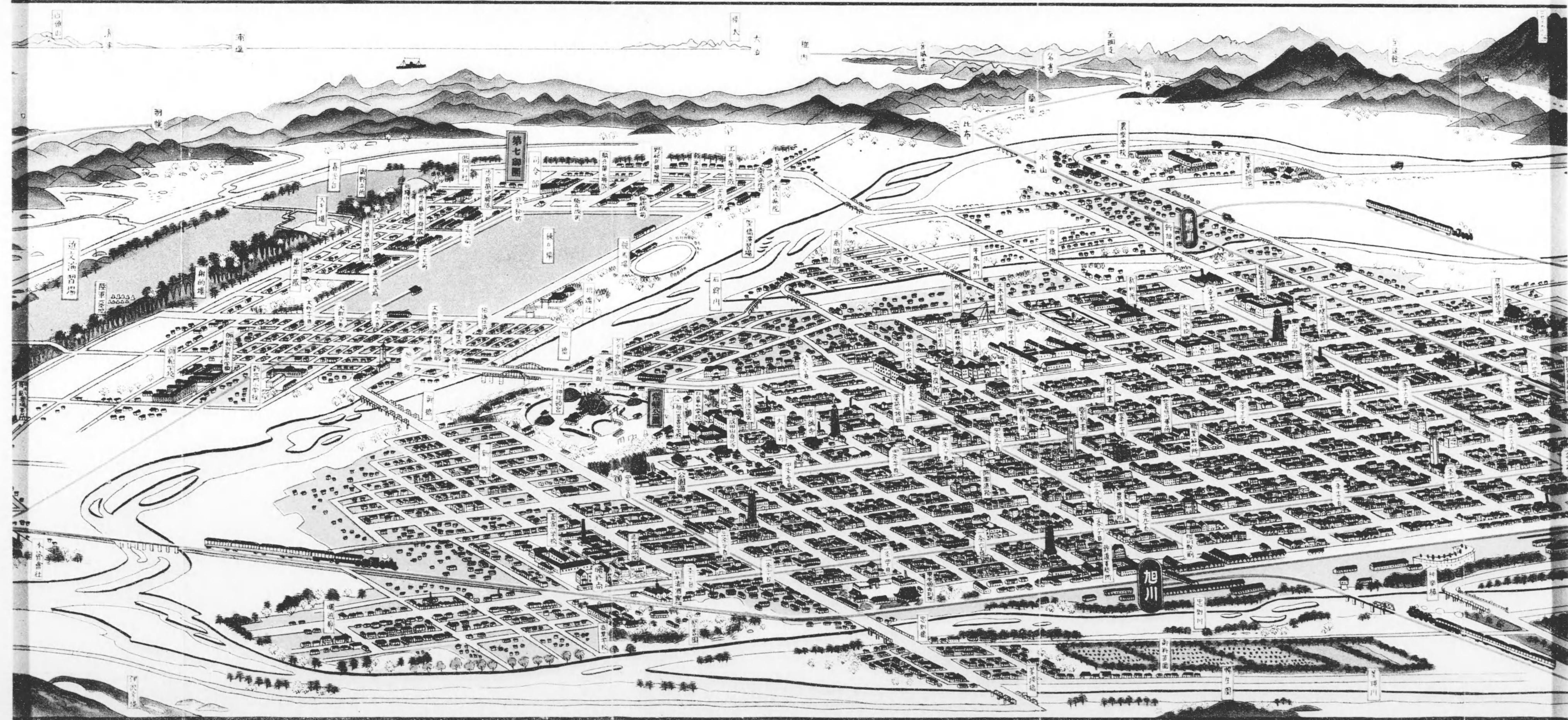


旭川市を中心とする名所交通魚瞰圖

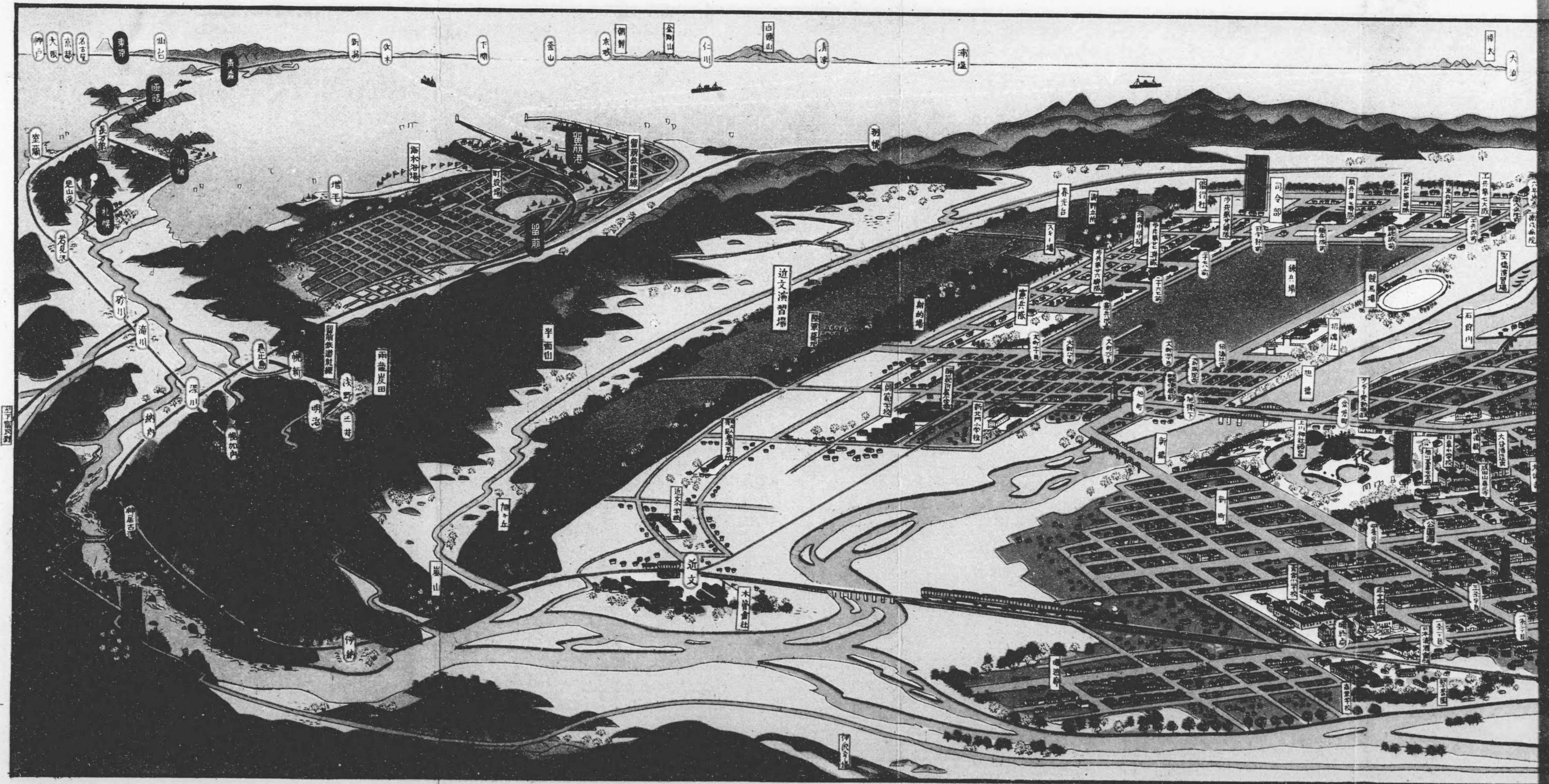
露光量違いの為重複撮影



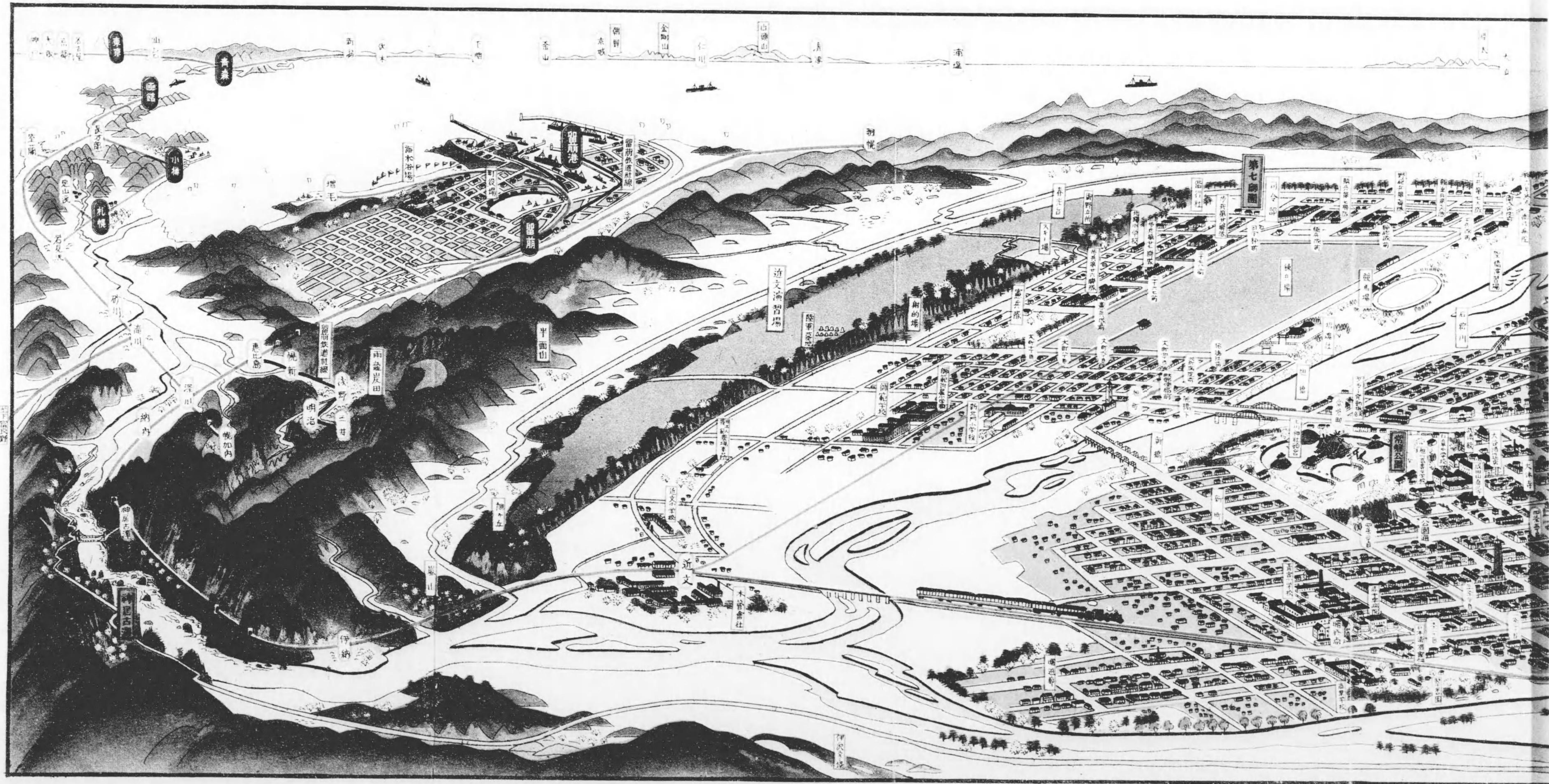
露光量違いの為重複撮影

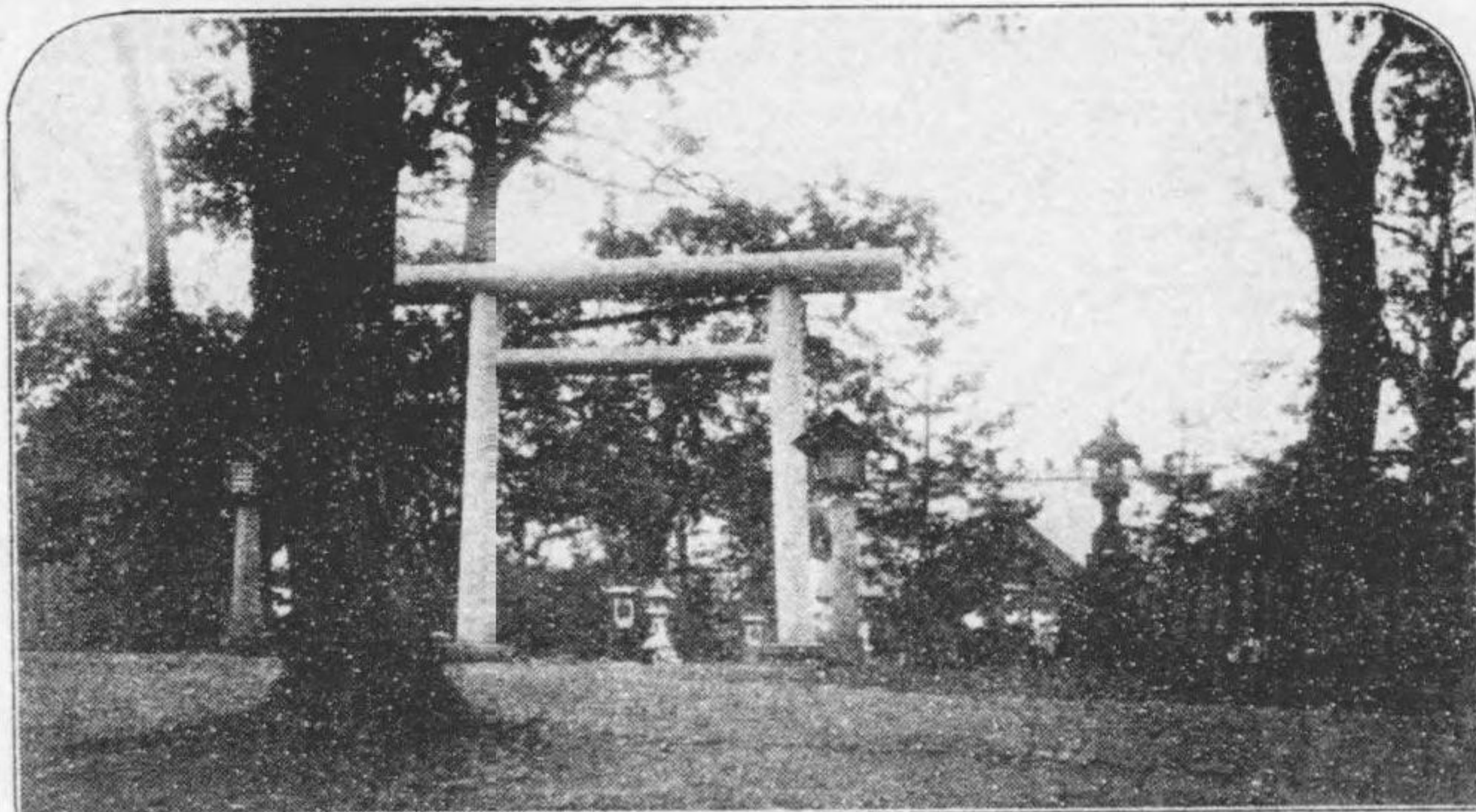


露光量違いの為重複撮影



露光量違いの為重複撮影





旭川市の沿革

往古は確たる文献の徴すべきものなく知るに由ないが、和人の足跡は寛永十二年松前藩士村上掃部左衛門が蝦夷全島地割作成の爲め、此地に來りたるが知られたる最古のものであり、降つて文化四五十年頃間宮林蔵が當地方を踏査し地理的觀察を遂げたるが之に次ぐ。蝦夷雜書に據れば文政五年(約八十年前)五百二十七人の土人が石狩川忠別川の沿岸に散在し遊牧的生活を営んでゐたと言はれてゐる。彼等は此の地方を「ベニ、ウングル、コタン」(上の川の人の村の意)と呼んでゐた。後年蝦夷御用係松浦武四郎が此の地方を上川郡と命名したるは、其の意に出たものである。

明治五年秋田縣人鈴木龜藏が狩獵をなすつゝ此地に來り、土人と交を結び明治十年土人の女を娶り永住の計を樹て、石狩川の中州(市の西端現在龜吉島)に茅屋を結んだ。之が和人移住の嚆矢である。

爾來政府の殖産政策著々効を挙げ、當地方の有望なるに矚目して移住する者日に多く、明治二十三年網走に達する中央道路五十七里餘の開鑿成つて上川地方發展の機運は愈熟したのである。

同年九月上川郡に旭川(今は旭川市東旭川村東川村に分る)神居、永山の三村を置設し旭川(東忠別)を上川市街と稱した是が旭川市建設の濼端である。

爾後附近水田の開墾、鐵道の開通延長、師團の設置等は著しく本市の發達を促進し、三十三年町制施行より大正三年區制實施と行政上の地位を高められ諸般の施設備はるに及んで、大正十一年八月市制の施行を見、斯して近々三十餘年前の一寒村が今や本道中部に於ける中心都市として産業上最も重要な地位を占め多量なる前途に向つて躍進の歩足を速めつゝあるのである。

▲旭川の語源……旭川は土人語「チュップベツ」を譯したもので「チュップ」は太陽「ベツ」は川の義で總じて「水源の東方に當つて旭の出づる處」の意味で之を意譯して旭川と命名されたものである。



常 磐 公 園



旭川市

位置と地勢

旭川市は北海道の略中央即ち東經百四十二度二十二分北緯四十三度四十七分に位置し、東西一里三十六間、南北一里二十九町三十一間、總面積は一・一六八方里である。

海面上百十三米の高原地帯に在り、地勢平坦沖積層土に屬し、地味良好四圍に百萬石産米を誇る上川平原を控へ東は永山村東旭川村東川村に隣接し西南は忠別川を隔て、神居村神樂村に、北は東鷹栖村北西は鷹栖村及江丹別村に境してゐる。

氣候

地理的關係より概して大陸的で寒暑の差は比較的大であるといふも、の、夏期は日中汗を絞る時間に至つて短く、朝夕涼味秋を洗ふ快さは當地方人のみの味ひ得る境地であり、冬期は十二月中旬より二月下旬迄は零下十度内外を往來する酷寒であるが、日中寒氣和ぎ且つ防寒設備の完備は、其の鋭鋒を殺ぎ生活上さして苦痛を感ずることなく、住民の健康がこの事實を物語つてゐると謂つてよい。

戸口

昭和三年末調査に依れば本市戸數一萬三千九百五十六戸人口七萬八千餘人となり、之に在營兵數其他を加ふれば七萬八千餘人となり、之を明治三十年末に比らると僅々三十年間に戸數に於て十一倍、人口に於ては實に二十一倍と云ふ著しき増加を示してゐる。

交通

本市今日の發展は四通八達之鐵路中樞に立ちたるに因るところ實に多い。即ち本道縱貫幹線たる函館線は本市にて宗谷線に連絡し、更に北に延びて稚内港に達し稚泊連絡船により樺太と結ぶ。一方同線は名寄より分岐して北見の釧路を貫いて、野付牛網走と連絡し、尙別に本道最中央部を横斷すべき營養線たる石北線は新旭川驛より分れて、現在中越驛迄通するが上川遠輕兩方面よりの工事既に大半を竣へ、昭和七年に於て全線の開通を見る筈である。

更に富良野線は當驛を起點とし南下して、下富良野に至りこゝで根室線と連絡し遠く帯廣池田釧路根室に達する。

右の如く本市は單に地勢上本道中央に位するのみならず、交通上の中心に立ち本道物資集散上の樞要地點に在る。

左表を掲げて本市交通狀勢の一斑を示さん。

市内交通機關……市街電車は昭和三年創立の旭川市街軌道株式會社に依つて工事は進められ

種 別	昭和元年	昭和二年	昭和三年
乗車人員	六六、〇七〇人	九六、〇六〇人	一、〇九、〇〇〇人
降車人員	九四、七〇八人	九七、〇九八人	一、〇〇、〇〇〇人
發送個數	一、三〇、九六〇個	一、四七、七二〇個	一、五九、〇〇〇個
到着個數	一〇八、〇〇〇個	一八、五八〇個	一五、五八〇個

▲本市の商權……現今本市の商權範圍とするところは、北は宗谷稚内より稚泊稚牛兩連絡に依



馬術の妙技

同四年十一月三日その開通を見、市街の面目は一新せられた。現在の路線は師團四條一條の三線なるが引き續き各延長線及び布鷹栖神樂の三郊外線に着手の豫定で、之等諸線の全通に依り市内交通の利便は益々加はることであらう。

其他乗合自動車二十餘臺、貸切六十餘臺、乗合馬車、人力車等坦々たる街路を疾驅してゐる。

旭川商工會議所

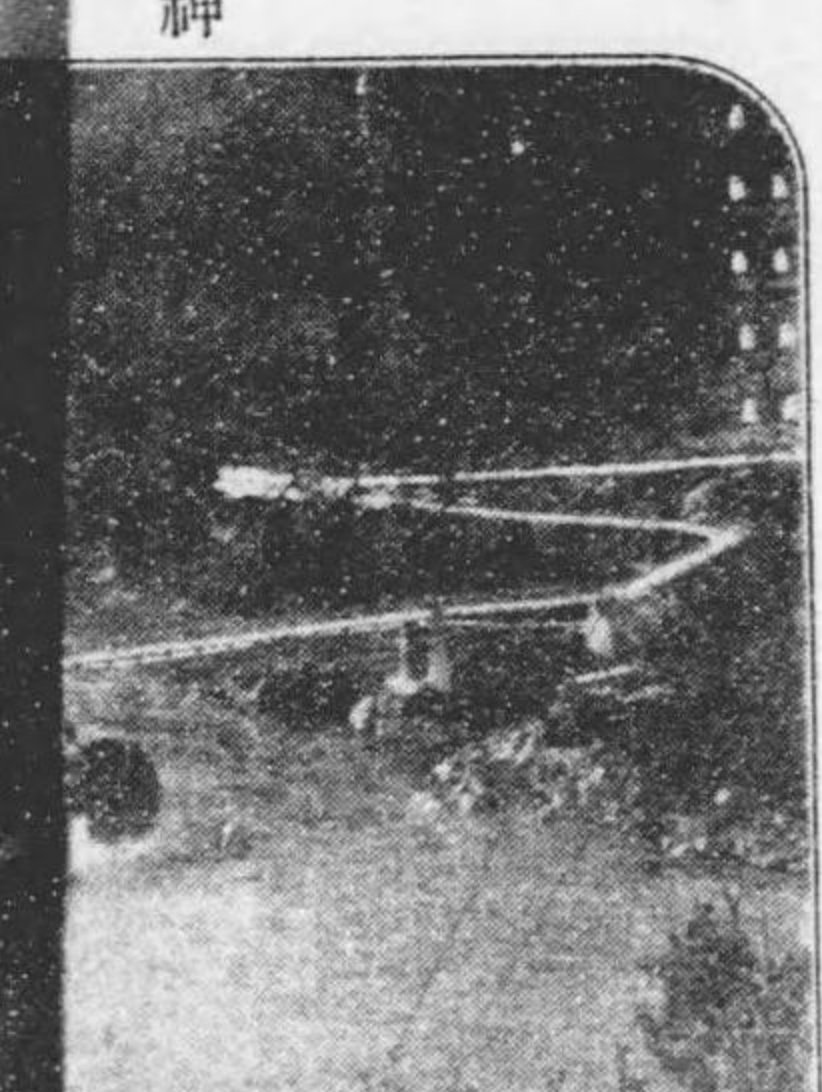
多年市民の翹望するところであつた商工會議所は大正八年八月其の創設を見、爾來本市商工業の發展に地方開發に最善を效してその機能は本市商工業の發揮に努め、設立の意義存立の價値を高めてゐる。

現在役員及理事は左の如くである。

職 名	名 氏
會 頭	齊藤三郎
副會頭	岡田重次郎
常議員	澤口善助
同	松岡源之助
同	世木澤藤三郎
同	山田新
理 事	野島民助
同	笠原定藏
同	松浦長藏
同	赤石忠助

主なる官公衙

旭川市役所、上川支廳、旭川警察署、上川稅務

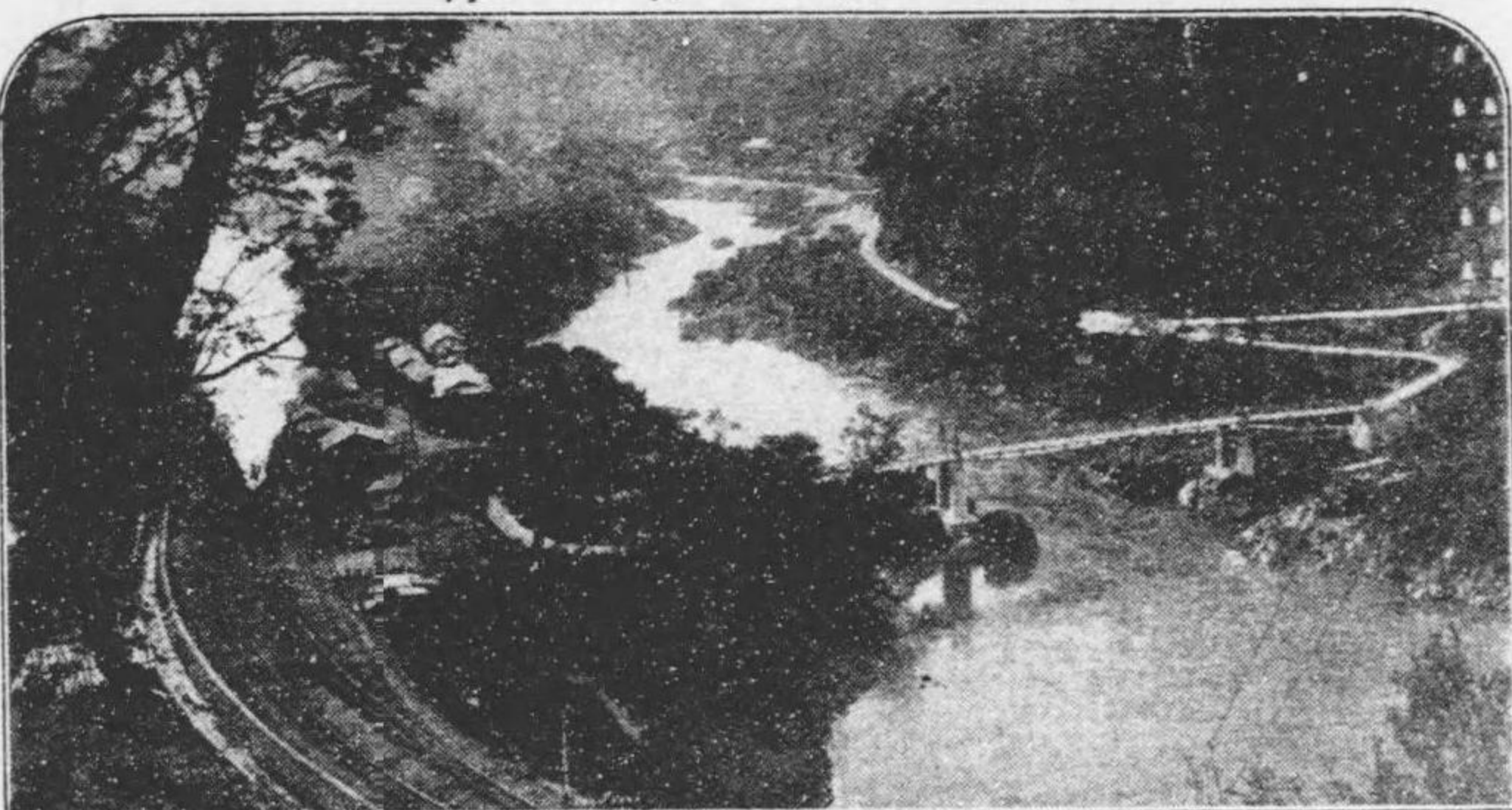


神

▲本市の商權……現今本市の商權範圍とするところは、北は宗谷稚内より稚泊稚牛兩連絡に依

學 校……旭川中學校、旭川高等女學校、旭川師範學校、旭川商業學校及北都高等女學校其他

旭川市役所、上川支廳、旭川警察署、上川稅務



到着個数 一〇八七個 二八五個 一五、五八個

▲市内交通機關…市街電車は昭和三年創立の旭川市街軌道株式会社に依つて工事は進められ

同四年十一月三日その開通を見、市街の面目は一
新せられた。現在の路線は師團四條一條の三線な
るが引き続き各延長線及び比布橋神樂の三郊外線
に着手の豫定で、之等諸線の全通に依り市内交通
の利便は益々加はることであらう。

▲商業 ▲本市の商權… 現今本市の商
權範圍とする
ところは、北は宗谷稚内より稚泊稚斗兩連絡に依
て樺太に及び、東は根室網走野付牛一帯に及び、
本道東部六箇國に亘る大地域を占め西は留萌岩
見澤方面に至り、本道中部及東部重要物産たる
林産物農産物米穀其他の如きは本市を通じて全
國汎く至らざるなき盛況である。

▲物資の集散…商權の伸張に伴ひ本市に於ける
集散貨物も又逐年激増を示し、最近の旭川驛貨
物移出入總噸數五十一萬三千噸に及び、内移出高
十七萬六千噸移入高三十三萬噸で、其の主なる
ものは米、木材、石炭、薪炭、雜穀類、肥料、清酒、
味噌、醬油等で就中米、木材に於ては全道隨一の
集散市場である。

▲金融…現在本市の有する銀行は普通銀行
五店、貯蓄銀行一店で北海道拓殖、北海道十二、
北門、中越、北門貯蓄の六支店銀行であるが、近
く安田銀行支店が本市に營業を開始するに決定し
てゐる。

主なる官公衙

旭川市役所、上川支廳、
旭川警察署、上川稅務

署、旭川營林區署、旭川土木事務所、旭川測候
所、北海道農産物検査所旭川支所、旭川森林事
務所、旭川健康保險所、旭川職業紹介所、上川
外四郡農會、旭川郵便局、旭川地方裁判所、旭
川區裁判所、旭川運輸事務所、北海道建設事務
所、旭川保健事務所、旭川驛、第七師團司令部、
第十三旅團司令部、第十四旅團司令部。

▲學 校…旭川中學校、旭川高等女學校、旭川
師範學校、旭川商業學校及北都高等女學校其他
旭川、北海日々、旭川
毎日、旭川毎日、旭川
日々、北海道中央の地元各日刊新聞社及北海夕
イムス、小樽兩新聞の支局あり。

▲第七師團 明治二十九年五月十二日創め
て第七師團を札幌に設けられ、
陸軍中將永山武四郎師團長に補せらる。明治三十
二年師團の編成完結し同三十四年十月師團司令部
を本市に移轉し今日に及ぶ。
現在屯在部隊は第七師團司令部、歩兵第十三旅
團司令部、歩兵第十四旅團司令部、歩兵第二十六
聯隊、歩兵第二十七聯隊、歩兵第二十八聯隊、騎
兵第七聯隊、野砲兵第七聯隊、工兵第七大隊、輜
重兵第七大隊、衛戍病院、衛戍刑務所、憲兵隊に
して總べて市の北隅(驛より約一里)石狩川の右
岸に集屯す。

主なる新聞社

旭川、北海日々、旭川
毎日、旭川毎日、旭川
日々、北海道中央の地元各日刊新聞社及北海夕
イムス、小樽兩新聞の支局あり。

名勝

▲神樂岡 旭川驛より約三十町、市の南方
神樂村東西御料地の中央に隆起
せる一高丘にして、丘上は一帶柏の大樹に蔽は
れ、丘麓は忠別の清流奔馳し風光明媚の莊嚴な
る境域である。
丘上に立ちて一度眼を放てば上川平野の開發
一眸の下に集り、旭川の炊煙眼下に横はり春の
櫻花、秋の楓葉遊子の杖を曳くものが多い。

▲春光台 旭川驛より約一里半、近文第七
號道路の高臺で第七師團演習場
として、その廣茫起伏の變化は絶好の地形をな
すのみならず、その名の如く陽春の眺趣殊に深
く臺上に佇んで一望すれば上川平原は一眸に聚
まり、更に遠く碧空を衝く大雪山の雄姿を指呼
の中に仰ぐ。
▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲旭橋 旭川驛より約一里半、近文第七
號道路の高臺で第七師團演習場
として、その廣茫起伏の變化は絶好の地形をな
すのみならず、その名の如く陽春の眺趣殊に深
く臺上に佇んで一望すれば上川平原は一眸に聚
まり、更に遠く碧空を衝く大雪山の雄姿を指呼
の中に仰ぐ。
▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。

▲春光台の四季
小さき鳥とびたちしあとの草原に
たんぼ、の架はしづかに舞(り)。



▲大雪山… 旭川より東南に望み東西八里、
南北六里の廣きに亘る一大山嶽
を劃し海抜二千二百九十米、旭嶽をはじめ、北嶽
嶽、白雲嶽、後旭嶽、永山嶽、小泉嶽、烏帽子嶽、
雲嶽、熊力嶽、比布嶽等、何れも二千米を下らざる
數多の火山嶽を擁して全道に山姿の秀麗と變化の
妙を誇つて雲表に屹立する連山が北海アルプス大
雪火山嶽である。その規模の豪壯は日本アルプス
を凌駕すと稱せられ、一千五百米の頂上寒地帯を
蔽ふ御花畑の艶美華麗に至りては華舌の形容遠く
及ばず大雪山登山者のみ満喫する山嶽美である。
▲大雪山路 厩雲峽温泉を發し、大雪山の東

を凌ぎ、變幻の妙はかの高地溪谷に優ること數
等と稱せられてゐる。
清登堂放蕩となり瀾となる石狩川上流に沿ひ、
天を劃する兩岸山嶽の美彌々たるところに鹽谷
温泉窟雲閣あり、湯の清澄豊富とラヂウム含有
量に於ては、全道に其の比を見ざる處である。自
動車を驅つて旭川より二時間、上川より一時間山
峽を穿つて神氣をぞるに登仙せんとする裡に、
は同温泉窟雲閣に着くのである。場所は絶勝の中
に在り、春は新緑、秋は紅葉に、いと興趣深く
銷夏に適し避暑によく山を戀ひ水を慕ひて訪るも
の年と共に多きを加へる。百聞一見に如かずと雖
も、其の美を盡すべく、知名文人墨客の詩歌を賜

雪大

▲北海招魂場 旭川驛より二十六町、
第七師團練兵場と一
章國道を隔て、在り、境内の内外老樹鬱蒼とし
てその莊嚴真に神域たるの感を深からしむる。
毎年六月五、六兩日第七師團戰没將卒の英靈を
弔ふ盛大な祭典が行はれる。

▲神居古潭 旭川驛を距る四里二十六町、
地の幽邃水石の奇勝眞に人
目を奪ひ、其の偉大崇高美は或は語はしめ
る。
▲嵐山 近文山の東に隣接せる小丘で此處
に登れば一望廣闊上川の大平野遠
く相連つて遙に山丘と相接し石狩、忠別、美瑛、
牛朱別の諸川其の間を縫ふて白布を敷けるが如
く其の風光實に雄大絶佳將來本市の公園地と豫
定せられたる景勝地である。

▲近文山と半面山 近文山と其の一部
半面山は鷹栖村の
兩端に位し近文驛を距ること約二十町、半面山
は會て桂中將が登臨して上川平野を俯瞰したる
際その名を得、近文山は開拓の大方針確定の記
念碑の立つ所、山嶽に登攀して左の碑文を見れば
先人の壯舉偲ばれて自ら感慨の深きを覺え
る。
▲大正橋 旭川驛を距る東に約十八町、神
樂村御料地に通ずる木橋で長さ
百二十五間全道屈指の長橋である。清麗澄達の
水流珠をたゞえたる如く向岸神樂岡の丘陵は體
色鮮に蜿蜒龍蛇の如く起伏し、橋上に佇めば心
身共に清く眞に俗腸を洗ふに至る。

▲翠香園と矢島養鯉園 旭川より約
十二町、前
者は荒井徳一氏の經營するところ、一萬餘坪に
亘る庭園地最も趣多く風致眞に拘すべきもの
がある。園内に高山植物園あり多種の珍木奇草
が人目を惹いてゐる。
後者は規模大ならざるも池中に潑刺たる鯉魚
の游泳するを見る亦一興で共に遊子の杖を曳く
ものが多い。

▲常磐公園 旭川驛より約十三町、市の
中央部に位し北は石狩川に
臨み南に牛朱別川に面し、面積四萬九千坪池中
に浮ぶ千鳥ヶ島に建設せられた上川神社願宮は
綠蔭幽草の間に點見して一入雅致を添へ假山、
泉水、樹木、草花の配置各々其の處を得て趣多
く西南隅の一部は體育競技場として使用され、
各種運動施設完備し願宮を圍む滿々たる清水に
ボートを浮ぶるも興深く市内唯一の行樂地とし
て散策する者後を絶たない。

▲舊土人部落 旭川驛より約九町、現在市の
保護の下に在るもの六十三戸三百餘人で訪るな
らば舊土人の生活状態を審にし教育、衛生、農
事等の概況を知り兼ねて往昔の家屋の模造寶物
其他の工藝品を賞見することが出来る。

▲下村暢生園 旭川驛より約一里、雨紛
伊の澤山の麓に在る、下
村正之助氏の經營になり千五百餘坪の廣きに亘
る。池中には常に潑刺たる鯉魚の戯れを見配置
せる木石の雅、伊の澤山の翠、眺望の雄相俟
せる景趣深く加ふるに三十三番觀世菩薩の安
置に依つて麗地は更に淨趣を添へ遊子の杖を誘
ふ。
數町離れて全國に規模の大を誇る伊の澤シヤ
ンツェあり、冬期スキーヤーの血を沸かす。

▲天人峽と松山温泉 峽は旭川より
て東川に達し、其より徒歩六里忠別川上流に在
り、大雪山麓旭嶽登山口海抜七百五十七米の高
地に松山温泉あり、附近は溪谷の美を以て知ら
れ羽衣、敷島、幣等の飛瀑は山水の風致は趣多
く雄大にして神秘的なる光景は層雲峽と好一對
をなしてゐる。

▲旭山公園 旭川驛より約二里半、東旭
川村に在り、倉沼の清流丘
麓を繞り、水面を抜くこと四百尺の丘地宛然神
域をなし一望萬頃の青田を俯瞰し得べく、更に
東方重疊たる旭嶽の秀嶺を仰望し得る、其の勝
地である。坦々たる道路は自動車に馳驅するに
まかせ、更に電車の開通に依つて一層探勝者の
多きを加ふるであらう。

發行所 旭川商工會議所
複製 著作權所有者 吉田初三郎
兼印刷者 光
名古屋市外大山町日本ライオン蘇江
編輯兼印刷所 觀 光 社

發賣所 本案内圖は市内書店及び道内主要驛に
於て定價一部金廿五錢にて發賣す。
御希望の方は御買求めを。

北海道招魂場 旭川より二十六町、第七師團練兵場と一章國道を隔て、在り、境内の内老樹鬱蒼としてその莊嚴眞に神域たるの感を深からしむる。毎年六月五、六兩日第七師團戦没將卒の英靈を弔ふ盛大な祭典が行はれる。

牛朱川の諸川其の間を縫ひて白布を敷けるが如く其の風光實に雄大絶佳將來本市の公園地と豫定せられたる景勝地である。

神居古澤 旭川驛を距る四里二十六町、地の幽邃水石の奇勝眞に人目を奪ひ、其の偉大崇高美は或は謳はしめ、

發賣所 本案内閣は市内書店及び道内主要驛に於て定價一部金廿五錢にて發賣す。御希望の方は御買求めを。

大雪山 (括別委さ丘川上)



大雪山と層雲峽

大雪山 旭川より東南に望み東西八里、南北六里の廣きに亘る一大山嶽を劃し海拔二千九百九十米、旭嶽をはじめ、北嶽、白雲嶽、後旭嶽、永山嶽、小泉嶽、烏帽子嶽、雲嶽、熊嶽、比布嶽等、何れも二千米を下らざる數多の火山嶽を擁して全道に山姿の秀麗と變化の妙を誇つて雲表に屹立する連山が北海アルプス大雪火山嶽である。その規模の豪壯は日本アルプスを凌駕すと稱せられ、一千五百米の頂上寒地帯を蔽ふ御花畑の艶美華麗に至りては筆舌の形容遠く及ばず大雪山登山者のみ満喫する山嶽である。

登山路 層雲峽温泉を發し、大雪山の東南角の一峯黒嶽に登つて縦走のコースを辿るのと、天人峽山温泉を出て西北角の一峯旭嶽を先づ征服して連嶽を縦走し、鹽谷温泉に下山して踏破の勞を忘るゝ二縦走コースであるが、時間の餘裕と健脚の自信あらば石室を根據に他の行程を探り永山、比布、旭、後旭、白雲、小泉の諸嶽を踏破れば大雪山の抱擁する燦爛たる御花畑の美、壯麗なる原始林の樹海は固より三伏を貫いて彌滅せざる雪田雪溪等の山岳美の精粹は殆ど探勝される。

層雲峽と鹽谷温泉 峽幅百里を驅流を經とし、標高二千米大雪山の秀峯を緯とし、自然美の粹を鑄りて織りなされた仙境が層雲峽である。石狩川の上流大雪山の山脚を劃つて五里の間天に冲する二千尺の斷崖削壁直立し、雪田雪溪に發する溪流は之に懸つて白蛇、流星、銀河、雲井、錦糸の瀟となり雄大神秘の情景は朝鮮金剛山

を凌ぎ、變幻の妙はかの上高地溪谷に優ること數等と稱せられてゐる。

清登豪放瀟となり瀟となる石狩川上流に沿ひ、天を劃する兩岸山嶽の美彌々酣なるところに鹽谷温泉層雲閣あり、湯の清澄豊富とラヂウム含有量に於ては、全道に其の比を見ざる處である。自動車も通つて旭川より二時間、上川より一時間、山崎温泉層雲閣に着くのである。場は絶勝の中心に在り、春は新緑、秋は紅葉に、いと興趣深く銷夏に適し避暑によく山を戀ひ水を楽しみ訪るも其の眞を立證すべく、知名文人墨客の詩歌を掲げてその贊とせん。

遠來溪谷奥 朝夕浴靈泉
山高殘雪白 嶺屏五里連
塵念渾散盡 自疑身是仙 (大町桂月)

天地を造りし神が休み日に
試したまへる手すさびの跡 (尾崎翠堂)

仰見文壇太白星 詞華燦爛筆含靈
今宵大雪山高處 萬丈光芒射四溟 (國分青崖)

中空の戀は捨てけんをやめの
ひとみの色も澄める美女の湯
湧き落つる湯の香いさよふ眞實時
靈光の湯の夢心地かな (馬場孤蝶)

此の奇峽 鹿來すなりて月淋し (句 佛)

層雲峽 (景の幽小)



筆一てへ添に繪

北海道と言へば、繪に熊に追分、豊後、石狩川に五稜、大沼公園、狩勝平野、札幌の帝國大學、そして、源義經に關する傳説と落葉松に流水の風景を思ひ浮べる位が普通一般の常識であつた。而して北海道の内部に足踏み入れた人は、其處に展開せられた幾つかの大都市が、餘りにも規模雄大、街區整然としてゐるのに吃驚して、是れ果して日本かと疑はざるを得なかつたであらう。事實、北海道に於ける各都市の壯麗なる外観と雄大然たる道路の美觀は、所謂本土の六大都市が、今後五十年の歳月を以てするも到底實現不可能なりと斷言するに堪らないところで、就中、全道の中央に位置を占め、本邦第二の長流石狩川の兩岸に門戸を張つて、今や正に振興進歩の途にある我が旭川市に於て、特に其の面目躍如たるを見るのである。

「旭川」といふ文字は土語「チユツベツ」(忠別)を意譯したものであるといふ。即ち東方旭の出づる處の意で、東海日出づる國日本に於ても、殊に朝陽嶽として輝き、旭日昇天の勢を能く其の市勢に具現した北海道屈指、日本有数の名都と稱し得べく、無味で煩雜な北海道の地名中、是れは又抜群に優美壯麗な好名稱といふことが出来やう。開官林藪の探検時代や、岩村第一長官の開拓時代はいさしらず、明治三十年頃僅かに人口三千六百を有してあつた此の土地が、三十年後の今日に於て、人口八萬、面積五百廿二萬坪を擁する大都市になつたといふことは、正に廿二倍強の發展ぶりであり、其處に北海道産業文化中心地としての旭川を雄辯に立證すると共に、第七師團司令部並に其の全部隊駐屯地としての旭川をも併せて鮮やかに記憶することが出来るのである。

而も一面、郊外一步の地點に、北海道屈指の名勝「大雪山」と「層雲峽」を有つてゐる所に今一つの大きな興味と魅力とがひそんでゐる。

大雪山は北海道第一の高山、海拔二九〇〇米、市の東南方に當つて秀麗な裾野を曳き、巍然として雲表に聳えた一大山嶽で山形景觀の多奇變化と高山の山嶽美を具備することにして日本アルプス以上の名山といはれ、大雪溪、大雪田、高山植物、高山昆蟲類の豊富さに於て正しく大雪山の名を恥かしめぬものがあり、而して石狩の長流其の麓を繞つて、變幻奇極の妙をつくす大溪谷美、大岩石美、大瀑布美、五里の長きに渡つて展列してゐるのが層雲峽であり、此の兩名勝探遊の關門とするのが北海道八大温泉の隨一「鹽谷温泉」である。

大面小面の小石でさへもトコロ
ハ、チヨイトサ、トコロ層雲峽
といふ野口雨情氏作るところの「層雲峽小唄」節もリズムもや、纏綿に過ぎる程みはあるが、日本百景層雲峽を世に紹介すべく、大衆的の價値は充分にある名民謡である。今や雪名残りなく消えて萬物皆々たるの時本圖刻なりて世に出づ、莫くば諸氏が座右の架りともな、終りに臨み旭川商工會議所會頭藤原三郎氏、同副會頭岡田重次郎氏理事赤石忠助氏以下諸員の深甚なる御高配と旭川全市諸君の熱烈なる御贊助を拜謝し奉ると共に、京都なる恩師藤原木孟郎先生の御清聴を謹んで祈念し奉る。

日本ヲイン蘇江、時の畫案にて
吉田 初 三 郎

附録鳥瞰圖は旭川商工會議所發行にかゝるものにて旭川要覽としては誠に相應しきを以て添付せり 裏面詳細なる記載事項により重複せる記事は掲載せず 尙變更の分は左に掲げて御参考とす

附録鳥瞰圖中變更分

- 商工會議所役員變更 (現在役員)
會頭 岡田重次郎 副會頭 鶴間禮藏
常議員 福居清兵衛、松浦長藏、藤田椿三夫、西村末吉、堀川太郎治、高山孝次、成川篤次、
- 新聞社變更 (現在日刊發行社名)
旭川新聞、北都毎日新聞、旭川毎日新聞、旭川日日新聞、北日本日日新聞、 以上の地元新聞に變更あり
- 新附記
石狩川に架橋せられらるる橋梁は圖面上には 旭橋と新橋のみなりしが昨年十一月より新たに金星橋が中島遊廓裏より招魂社前通に架せられたり
- 新名勝
招魂社外苑裏手に市營グラウンドが設置せられ尙プールも開設せらる

歷代市長 (町制時代ヨリ)

町長	本 田 親 美	自明治三十五年七月二十五日 至全三十六年六月十四日
"	奥 田 千 春	自全三十七年一月二十九日 至全四十一年一月二十八日
"	齋 藤 米 藏	自全四十二年五月十三日 至全四十四年二月十三日
"	奥 田 千 春	自全四十四年三月三十一日 至大正三十四年三月三十一日
區長	市 來 源 一 郎	自全三十四年五月二十四日 至全三十五年七月二十四日
市長	岩 田 恒	自全三十五年六月二十五日 至昭和十二年六月二十五日
"	奥 田 千 春	自全三十八年六月二十九日 至全四十年六月二十九日
"	渡 邊 勘 一	自全四十二年六月二十九日 至全四十四年六月二十九日
現 代		

旭川市功勞者

矢 島 宇 八	旭川市一條通西四丁目
笠 原 定 藏	全二條通三丁目右一
淺 川 浩	全宮下通九丁目左三
石 崎 鶴 吉	全一條通十五丁目左六
齊 藤 彌 三 郎	全宮下通九丁目左七
齊 藤 仙 次 郎	全一條通八丁目右二
越 川 百 一 郎	全一條通西四丁目
坂 東 幸 太 郎	全三條通十丁目左六

旭川市役所
旭川商工會議所
旭川地方裁判所
旭川區裁判所
旭川供託局
旭川川支廳
旭川川稅務所
旭川川測候所
旭川川警察署
旭川川郵便局
旭川一郵便局

官
公
署

旭川
" " " " " " " " " " " " " " " "
一條東郵便局
一條郵便局
三條郵便局
四條郵便局
六條郵便局
七條郵便局
宮下郵便局
大町郵便局
師團前郵便局
近文二線郵便局
旭町郵便局
新旭川郵便局

旭川運輸事務所
旭川保險事務所
北海道建設事務所
第七師團
旭川森林事務所
旭川土木事務所
旭川營林區署
日本赤十字社北海道支部病院
旭川刑務支所
北海道農產物検査所旭川支所
北海道廳旭川健康保險出張所
日本放送協會北海道支部
旭川出張所

一日のお疲れを
僅か一パイの!!

ゴールドで……

徳なお酒

ゴールド

中等學校

應立旭川中學校
旭川商業學校
旭川師範學校
永山農業學校
旭川高等女學校
市立高等女學校
旭川實科高等女學校
旭川中等夜學校
旭川商工學校

小學校

中央尋常高等小學校
日章尋常高等小學校
大成尋常高等小學校
旭川師範附屬小學校
北鎮尋常小學校
朝日尋常高等小學校
青雲尋常高等小學校
近文尋常小學校
大有尋常小學校
啓明尋常小學校
日進尋常小學校
正和尋常小學校

教育社會事業

旭川職業紹介所
公益質屋
下村育英財團
旭川教育會
青年訓練所
旭川聯合青年團
旭川母親會
旭川養老院
旭川救護院
旭川保護會

三條通十一丁目
九條通九丁目
五條通六丁目
旭川市役所內
旭川市役所內
旭川市役所內
旭川新開社內
榮町西一丁目
宮下一丁目
常盤通中島
新町

縣社 上川神社

眞宗
本派 慶ケイ 誠セウ 寺ジ

銀行會社

株式會社 北海道拓殖銀行旭川支店
 株式會社 北海道銀行旭川支店
 株式會社 十二銀行旭川支店
 株式會社 北門銀行旭川支店
 株式會社 中越銀行旭川支店
 株式會社 安田銀行旭川支店
 株式會社 北門貯蓄銀行旭川支店

旭川市二條通八丁目
 旭川市一條通八丁目
 旭川市三條通十丁目
 旭川市四條通七丁目
 旭川市四條通八丁目
 旭川市四條通九丁目
 旭川市四條通八丁目

主なる會社

□大日本電力株式會社旭川事務所
 □旭川電氣軌道株式會社

□旭川市街軌道株式會社
 □合同酒精株式會社

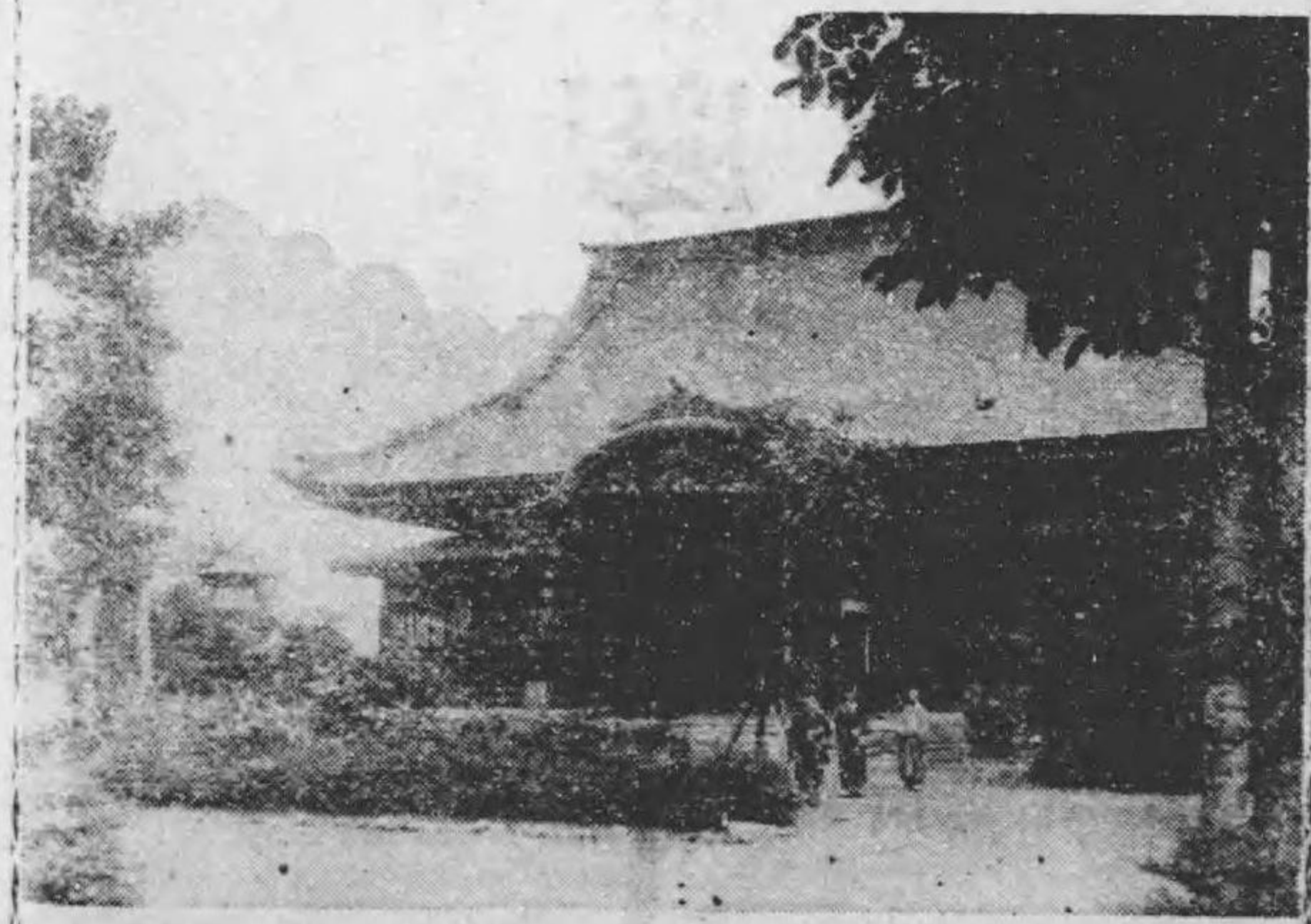
大谷派
本願寺

旭川別院

電話二四〇九番

大休禪寺

四條通四丁目



日蓮宗

妙法寺

旭川市六條通十九丁目

電話三三一七番

成田山

真久寺

四條通四丁目

電話二、二四一番

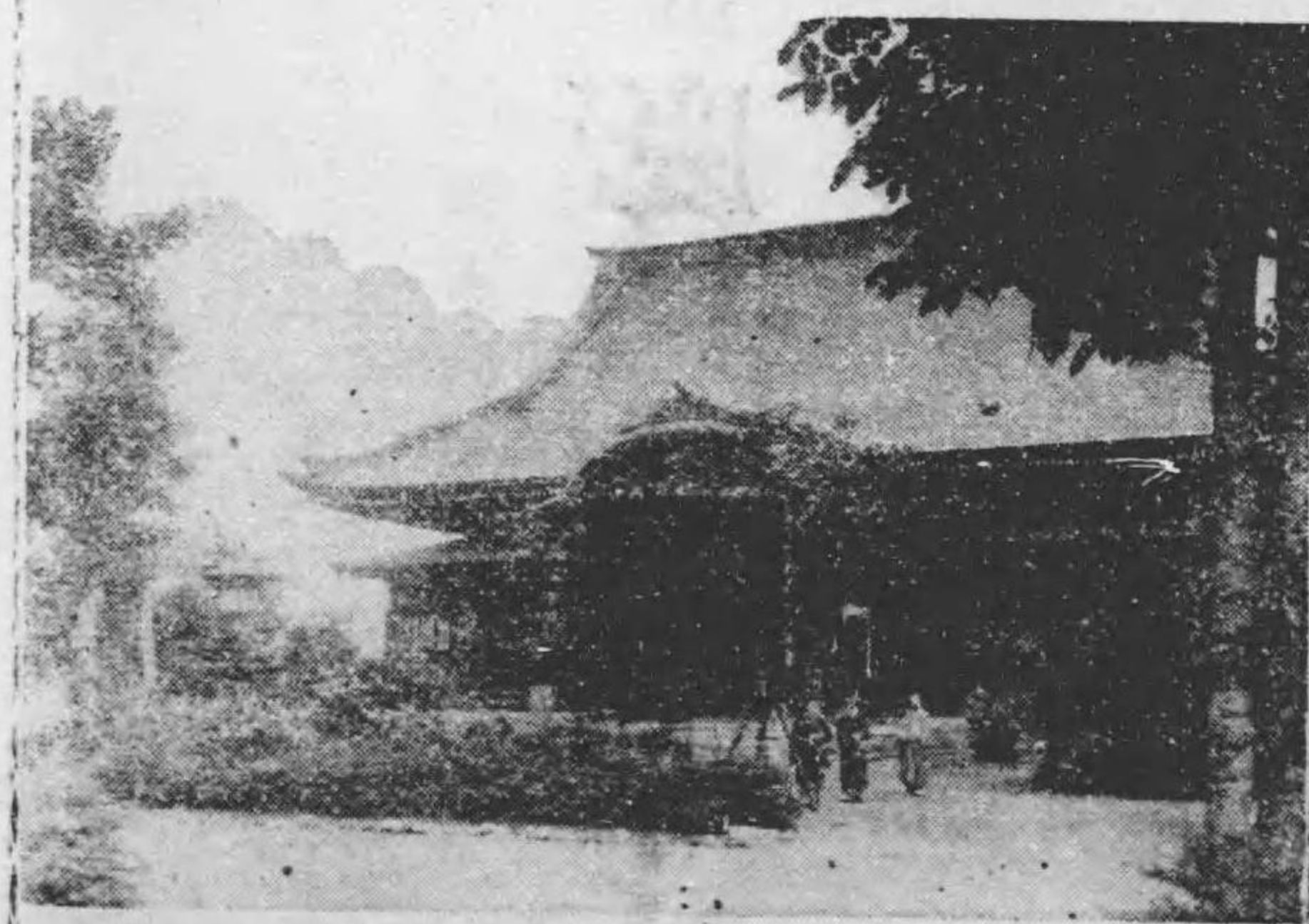
大谷派
本願寺

旭川別院

電話二四〇九番

大休禪寺

四條通四丁目



佛閣

日蓮宗

妙法寺

旭川市六條通十九丁目

電話三三二七番

成田山

眞久寺

四條通四丁目

電話二、二四一番

佛閣

淨土宗

善光寺

住職 越野 大宥

旭川市五條通三丁目
電話 三、二六八番

眞言宗

金峯寺

五條十七丁目

電話 四〇二六番

旭川市十條通八丁目

淨土宗西山柳谷

興隆寺

電話 三九七五番

リツ ショ ジ

立正寺

日連主義研鑽所

住職 吉田 日應

旭川市旭町一丁目
電話 三三三二二番

五條通二十二丁目

法王禪寺

電話二九一八番

淨土宗

旭川市中島

報恩寺

電話二二八五番

旭川市職業別 優良商店案内

職業別目次

印刷	一
履物・肉商	二
保険・時計・陶器・塗裝	三
茶・治療	四
獸醫・常設館・理髮	五
自轉車・自動車・料理店	六
旅館	七
菓子・菓子具・家具	八
紙文具・看板・金物	九
樂器・洋物・用途・養兔	一〇
カフエー	一一
染物・贈答品・釣具・農具・靴	一二
藥種・電氣機械・荒物・金庫・喫茶	一三
眼鏡・ミンシヨウ・食料品・醸造	一四
被服・紋章・製油・木材	一五
製氷	一六
病、醫院	一七



井 今 井

旭川市一條通七丁目

電話(代表)四一五五番
振替貯金小欄二二三番

旭川電氣軌道株式會社

旭川市四條通八丁目

旭川ガス株式會社

旭川市街軌道株式會社

印刷

四條通十三丁目
今坂精美館

四條通十四丁目
西村印刷所

四條通十五丁目
北都印刷所
小 林 義 登
電話四〇八五番

三條通十二丁目左三
小野里製本所

旭川市四條通七丁目
海井崎印刷所

旭川市〇〇〇〇製本所
電話四〇八六番
電話三九一六番

三ノ十
鍵谷印刷所

三條通四丁目左十號
川井印刷所
電話二五七五番

吉川印刷所
二條通十四丁目
電話二五六二番

四條通六丁目左一號
米川製本所
電話呼二八二二番

四條通十二丁目左九號
大洋堂印刷所
電話二五三九番

第一印刷所
四ノ十四電車通

三條通十丁目
高柳製本所

上野活字販賣所
四通六丁目右十
電話三六四二番

三條九丁目
山崎帳簿印刷所
電話三四三七番

あらゆる印刷
小寺印刷所
一條九丁目
電話三二二六番

二ノ十八
海老田印刷所
電話四〇九六番

相澤印刷所
四條九丁目旭川本局前

印刷

1

印刷・履物・肉商

家庭急救常備藥
キンカン旭川販賣所
紙文具印刷業

松屋 寺山商店
四條二十一電停前
電話二二〇一

坂野商店印刷部
二條五丁目
電話二六九〇

旭川印刷所
五條十丁目
電話二六八〇

旭川印刷所
S.L.C.
旭川印刷所

三條通九丁目
佐藤製本所
印刷
電話三六九五

旭明舎
六條七丁目左六
電話四〇五八

旭川市街軌道株式會社
電車内外廣告取扱店
其水堂旭川支店
五條通十三丁目
電話二九六四

モリタ名刺店
三ノ十一旭市場入口
電話二六八九

履物
二條八丁目
五十嵐商店
電話二七〇五

太田半兵衛商店
二條六丁目
電話二四〇六

履物問屋
又坪田商店
旭川二ノ六

三ノ七
米澤履物店
電話三〇八七

肉商
二條七丁目右一
植松商店
電話二七〇九

四ノ七
中央軒庭山肉店
電話二六四一

高級牛肉
肉鍋專門
三光舎

保險

四條七丁目
帝國生命旭川出張所
電話三四八九

野村生命旭川出張所
所長 田村源治
三條三丁目右八仲

日本動産
火災保險會社
旭川出張所
四ノ十五

保險・時計・塗裝

本日簡易
旭川出張所
火災保險會社
七條三丁目
電話三五二五

火災保險代理業
有價證券買賣業
櫻商會
二條十一・電三八三六

時計

蓄音機レコード
蜂屋時計店
三ノ七 電話三二八二

大橋時計店
二ノ七 電話三一五六

一ノ五
明治屋本店
電話二一九九 二七六〇

陶器

陶器及硝子
山本商店
一ノ九 電話二二四三

一條十丁目
小松源吾商店
電話二〇一四

齋藤仙次商店
一八條八丁目右二
電話二二四四

塗裝

二條十二丁目
玉村ペンキ屋
電話四〇六三

塗裝・茶・治療

一般塗工請負

荒木關鐵衛

四條十二

三條三丁目

揚原塗工部

電話三六一四番

茶商

二條八右十

分翠月園

電話三一四三番
振替水樽七二九二番

旭川支店

林屋製茶名會社

二ノ八 電話二六〇五番

前川茶舗

五ノ八 電話二〇七二番

治療

渡邊紅酸素療院

渡邊保

野一色電氣治療所

片桐サダ

七ノ六右八

大學紅療院

旭川治療所

中澤治療院

院長 中澤竹次郎

八ノ十五右一

血液循環治療所

旭川治療師會理事 山口新介

腦病、胃腸病

神經病一般

牛田式治療院

七條十三丁目左三
電話四三五二番

家傳

院堂體整山森

七ノ七
番六七三四話電

改川島式紫外光線

麻生光線治療所

大町仲三停留所前
電話呼三二五五番

野一色電氣治療所

鈴木 一條一左十

體質向上院
難病相談所支部

飯田ラジオ堂

四條通十五左二號
電話呼三一九七番

精神療法
指壓療法

井上善助

三ノ九右一

電氣溫熱
指壓治療

旭川療術士會顧問
療術師 山口福太郎

民話研究會會長 二條通十九左四
御詠歌會會長 電話三一三七番

精神療法
指壓療法

愛澤靜枝

宅 四ノ十一右六仲三
鋼路市北大

婦人病指壓治療所
治療師

阿部こみえ

四條十一丁目右六中
公設市場前

旭川療術師會副會長
交靈術

佐藤菊之助

五條十二丁目左五

大松旭友明

東武療愛玉

流館術士會

柔々會

術長長長

美敏田松

旭川市一條通四十丁目右十號
電話呼三五六一番

帝國心靈研究會支部
靈光療院 院長
人事百般鑑定並ニ相談ニ應ズ
姓名鑑定無料

岡崎

博司

三條通四丁目左十仲
振替水樽八〇七〇番

治療

5

4

獸醫・常設館・理髮

脊推調整療院

院長 松田隆洲

常盤公園入口

獸醫

豊田家畜醫院

二ノ十九左一號
電話三六五五番

内外科
外科
産科
犬猫科

大野家畜醫院

旭町二電呼四三五五番

獸醫師

水上忠一

旭川市神樂本通四丁目
電呼三三四二番

笹原家畜病院

宮下十九
電話四二三三五番

菅原家畜醫院

旭町四丁目
電呼二五二八番

常設館

松竹直營

松竹座

三條十五

美滿

壽館

日活映畫
旭都封切

大勝館

電話二九三三番

松竹映畫

旭都封切

國技館

電話二三五六番

理髮

宮原理髮本店

二ノ十五

大場理髮本店

電話三九四六番

婦人美容室

北海ホテル

勝山理髮館

自轉車

大角
田中商會本店

三ノ九 電三二三七

三條八丁目

笠原自轉車店

スキ一部
電話三四四五番

三ノ九右三

木下商會

電話三四五二番

自動車

第一タクシー

電話二八九三番

神樂タクシー

美瑛旭川、雨粉旭川間

乗合自動車部

主 平澤菊太郎
一條通一丁目
電話三四三九番

四ノ八

近藤自動車部

電話三四八六番

料理店

大川屋

割烹
食堂

和葉

電話二七七四番

三ノ七

川さだ

電話二七二七・二七三七

割烹

川鯉

三ノ八
電話一八二番

理髮・自轉車・自動車・料理

三和見番

代表者 中川庄太郎

旭川市三條通六丁目

電話 二二七〇〇
一四四〇九七番



中川庄太郎
電話 2666
3434

割烹 花月

合資會社



見番

千四二六六

烹割

錦水

三ノ七右仲
電話三二二〇番

直營

江戸川

食味
割烹

壽金子

電話 四二〇〇
三三七番

料理

支那料理

芳蘭

三條七丁目
電話四三四五番

御料理 茶づけ

四ノ七 電話三九二一番

月

五條八丁目右十

朝陽樓

部半玉

御料理 松葉

三ノ十七左二
電三三一八

割烹

日之出家

三ノ十九六
電話四二二九

御料理 月

御料理

川よし

電四三二八番

御料理 喜多代

の家

電話二三四〇番

割烹 錦水

七ノ三 電話一三二〇番

10

割烹

壽

西川

櫻小路

千三四六一番

料理・旅館

割烹

第一樓

六ノ一

電話二三八〇番
番一〇〇三

割烹

松月

三ノ七
電話二八四二番

旅館

宮越屋

宮下八
電四一五一

三浦屋

宮下七
電二〇一七

越後屋

二ノ九
電二一六六

中村屋

一ノ七
電二二六二

田中屋

一ノ八
電二二二二

株式會社

北海ホテル

四ノ八
電四一四一

永樂館

電四一〇一

11

菓子商・菓子具・家具

惠比須屋

一、七、七、目
電話二四二九番

菓子商

日の出せんべい製造元

★中越次第商報進呈★

二、二、二、目

日之出軒旭支店

電話三二四一
振替水簿四六五四番

製菓問屋



岡本米一商店

一、十、七、目
電話四〇七二番
四、通、四、目
電話二四六〇番

岡本製菓工場

菓子問屋

谷松商店

電三十五一

中屋菓子舗

二、ノ、八
電二二五九

名菓大雪山
本舖千秋庵

二、ノ、八
電三四七〇番

菓子具

一、十、七、目

大門屋商店

電話二〇九番
振替水簿四二九番

家具商

石崎商店

二、ノ、九
電話二〇六五番

上田家具店

二、條、通、十、目、右、三
電話三三二三番

大和屋

一、ノ、六
電話二二五三番

李黒川家具店

二、ノ、十
電話三二八九番

建具疊

沼澤商店

一、ノ、十二
電話三五八三番

紙文具

市村紙店

二、條、通、八、目
電三七九四番

和洋紙
文房具

阜利平紙店

中島師團通
電話二九五八番
振替水簿一五〇三四番

岡田商會

川本猶次郎

二、條、通、八、目
電話二五四四番
振替水簿五五二七

山田商店

二、條、通、九、目
電話二〇一八番
二二三九番

看板店

紙文具・看板・金物

看板と裝飾

カツミ看板店

三、ノ、十二
電三八九五番

ネオンサインと看板
クロードネオン代理店

旭川廣告研究社

六、ノ、七
電二二二八呼

美術看板製作

白樺社看板店

高橋政雄

四、條、十八、右、七
電三五〇四呼

金物商

福録ストープ代理店
大分セメント特約店
朝日スレート煙筒代理店

伊藤金物店

一、ノ、十一

花

輪鐵店

二、條、通、八、目
電二六〇二番

13

12

天王寺鋸
大工建具用鋸
大工建具道具
萬面取小鉋
打刃物一式
山林道具
箆筒金具類
建築家具金物
家庭金物一式
度量衡器

旭川郵便局私書函第貳拾六號

旭川市一條通十二丁目左一號

旭繁宮旭商店

取引銀行
電話二八九七番
略(アサヒ)又(ア)
振替口座小樽五七一七番
十二銀行旭川支店
安田銀行旭川支店
北海道銀行旭川支店
北海銀行旭川支店
中越銀行旭川支店

株式會社

今井金物店

一條通八丁目
電話二二五一

樂器商

三ノ七 三和見番向ヒ
御琴 三味線
附屬品

山田樂器店

電話三七一〇番

桐屋樂器店

三條師團通
電話二二〇二番

洋物商

伊勢源
二ノ七 電二六六八番

正札堂

四條師團通
電八九二二

ネクタイの

紫水堂

五條師團通 電四三七四呼

用達商

諸官廳陸軍御用達
山田商店

官廳用達部

一條通十丁目左七
電話二四六七番

山崎商店用達部

三條通九丁目
電話三四三七

岡田商店用達部
二條通八丁目
電話二五四四

合資 新谷商會
一ノ七 電話三五五一番
札幌出張所 南十四西十三

養兔

北都園養兔場
場主 大澤源作
九條十七左二、三

樂器・洋物・用達・養兔

カフェー

肉なべ
割烹

はるい

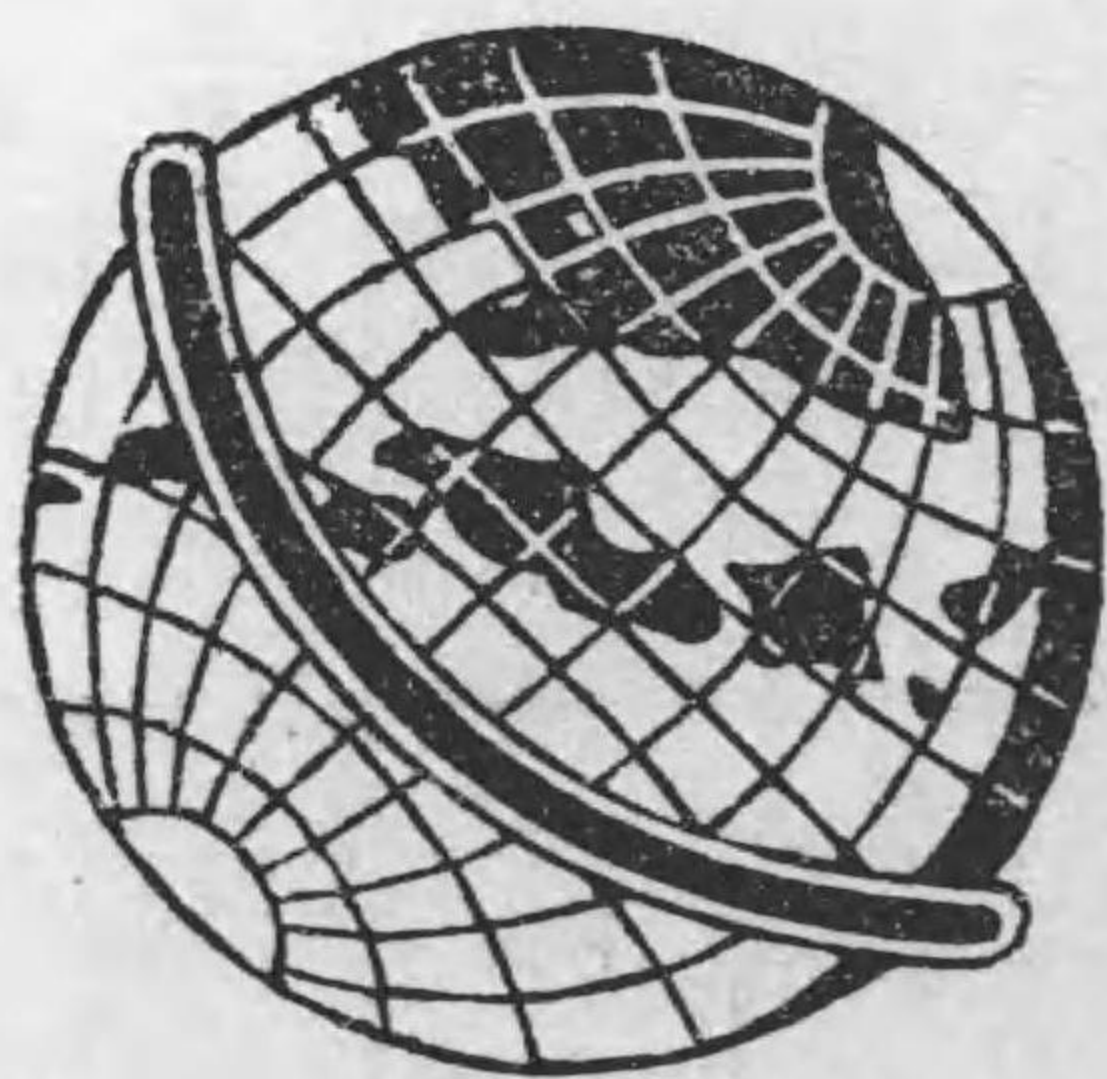
電 二八七一
三八六七

カフェー 三ノ十六
タイガー
割烹 美保家
電 四三八〇

一エフカ

シバンシ

七ノ一
電 四九三三



カフェー 日 輪

電 3376 番

17

カフェー

カフェー

割烹
カフェー

福 太
住 陽

二條通八丁目
電話二〇一六番

カフェー

百萬両

二ノ七中櫻小路
電話二五八五番

割烹

つる本

カフェー 處女林

割烹 當八軒

直營

サッポロビヤホール

旭川市3の7
電話2242番

16

カフェー

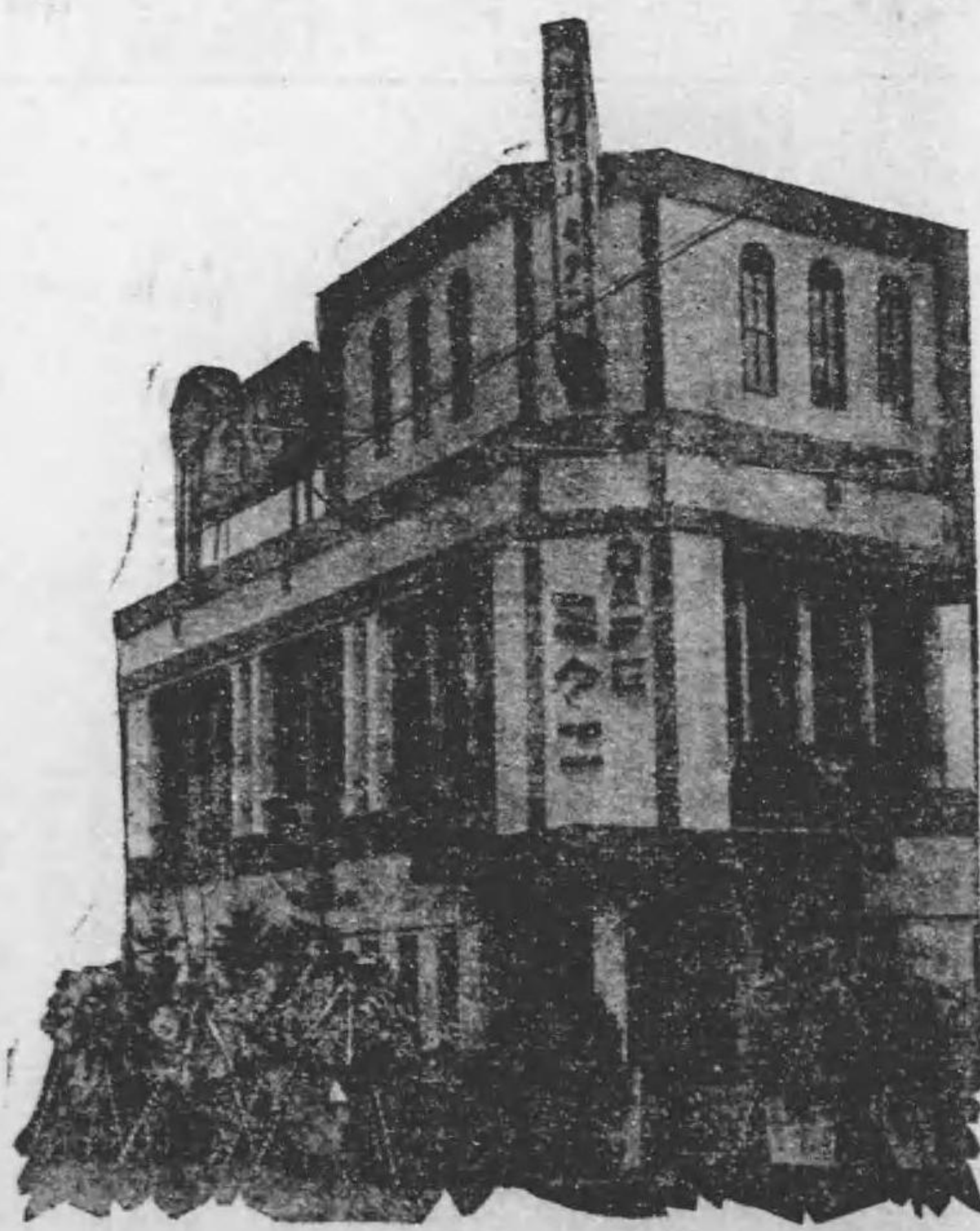
何時も常第一線

ニクミ つ立

一エフカ

ニクミ

目丁八通條三
番四〇九三話電



19

カフェー

本店 カフェー エロス

四ノ七右中

電話四〇四三番

支店 カフェー コンパル

二ノ八左中

電話二五七一番

四ノ十五
躍進
鍋屋食堂
出前迅速
電四二四九

千歳茶屋

電四六一二話電

四ノ十四右八中
おでん 江戸金
電三九五

おでん 三ノ七
ふくべ
電二二二三

し壽 三ノ七
おでん 千成
電四二二〇

おでん 三ノ十四左中
次郎長

おでん 獨特松たけ釜めし
小料理 お京茶屋
なべ類 三ノ八 電三九七三

18

カフェー

サロ旭川

五ノ七 電話 3379 番

旭川會館

四ノ七右中

經營者 森内竹次郎
電二一三〇
本宅 一ノ三左十
電三四九二

ユニオンパーラー

電三四三二番

木ノ芽おでん
切たんぼ

波本

三ノ八左中

グロリー

三ノ十四 電三三八六

ヴキナス

キネマ街 電二一九一

カフェー 司 (ツカサ)

キネマ街 電三二八九

酒道樂

安兵衛

松竹座ヨコ

日本酒 洋酒 酒場 支那酒

クロガネ

スタンドバー
四ノ七 電呼三四七六

三ノ七右九中
割烹 玉川
電二一八三

染物商

染物・贈答品・釣具・農具・靴商

近藤重一染舗

一ノ三右一 電話二二五五

印入染物専門

玉川屋染店

二ノ三

青木染舗

二ノ四

贈答品

タオルカレンダー扇子

山崎商店

三ノ九 電三四三七

タオル半片廣告用品

木下英商店

五ノ九

釣道具

釣車各種製造販賣

新出釣具店

新出周市
常盤通旭橋詰

一ノ九

小川釣具店

農具商

一ノ十九

藤瀬農具製作所

電三二四三

實用新案登録
多田式舟型虫捕器

辰屋商店

一ノ七 電二四二五

靴商

ゴムタツ製造元

ゴハタニホン工業所

宮十六 電三七九六

藥種・電氣及機械・荒物・雜貨・金庫・喫茶

林靴店

七ノ七 電三五一九

靴と靴 旅行用具
藤川フジ川靴靴店
五條師團通角 電三四二五

藥種商

二ノ十三
北海製藥株式會社
電三五一七

三ノ八
山本藥局
電二一五四番

喫茶洋生
壽々屋
四ノ八 電二七二〇

眼鏡店

ヤマモト眼鏡店
三條師團通 電二九八六

ミシン

眼鏡店・ミシン・食料品

一ノ十八
前田和一商店
電二三三六 二三三七

電氣及機械

五ノ十
北野電氣商會
電二〇七八

ラジオと電氣
キムラ電氣店
木村房 電三〇一四

二ノ三
北釀社
和氣商會

三ノ八師團通
シンガーミシン會社
旭川支店 電二三一五

食料品

泉原食料品店
五條七丁目 電話四二四〇番

三ノ八
亀屋食料品店
電話二八七七

荒物
雜貨

山口支店
二ノ九 電二七〇七

金庫商

二ノ九
後藤金庫店
電二一八七

豆源商店
食料品果實
夜明營業 松田屋商店
三ノ八左三中 電三九八二

吉竹鶴吉商店
二ノ七 電二〇五〇

食料品卸
富屋
二條九丁目 電四二〇二

釀造業

喫茶

喫茶

小鳩
四ノ九 電三三七七

喫茶

チロル
本局前

一ノ十五
石崎酒造店
六ノ七 電二二二三番

山崎酒造店
四ノ十五 電話二〇六六

藤田釀造店

四條通十七丁目
不野崎商店
電二二二二番 二八三三番

酒造

野 旭 銘酒

醸造元

旭川市 鹽野谷酒造店

一條通十六丁目

福居清兵衛商店

醸造部

電話二一〇、三一五、
三八三、四三〇、二

宮下通十七丁目

小檜山酒造店

電話二二五一番

日本清酒株式會社

一條通一丁目

電話二〇三五番

25

酒造

酒おイマウ

旭正宗



大谷酒造店

常に良い酒

鶴 威 神

(カムキツル)

(小樽㊦白方本店吟醸)

八條九丁目

白方出張店

電話二六二二番

24

酒造・被服・紋章・製油・木材

優等
清酒

登鶴

旭川市

世木澤吟醸

被服商

二ノ十六

山口商店
電三四五六

軍隊拂下問屋

松村商店
六條師團通 電二五四六

紋章

三ノ十

水野紋章染店
電三四五三

縫紋と縫ネーム

西野紋店
二ノ五左七

製油

各種油製造本舗

山田商會
六ノ十七 電話三八一七

土地建物有價證券 賣買
貸金約束手形證券

六條通十七丁目左七

アサヒ商事株式會社
電話三〇二二番

木材業

六ノ十二右一

淺野悅藏商店
電話四二九二三番

旭川市六條通十三丁目左一號

松岡木材株式會社

木材

青木丸太 一式販賣
電柱類

旭川市宮下通十三丁目左二

福井木材商店
合資會社

電話四二一〇番

製氷業

比布喜多氷室
旭川販賣所
三ノ十三 電話二七〇一

病醫院

外科
四條通十七丁目
電話二八〇二番
正木病院
院長醫學博士 正木 實
副院長 榊井 喜敏
藥劑師 坪田彌太郎

島田外科病院

五條通十七丁目
電話三一六六番

荒瀧病院

一條通九丁目
電話二七七一番

岩澤眼科病院

五條通十七丁目
電話二八四六番

吉村齒科醫院

一ノ九右一
電話三五六九番

井合齒科醫院

三條通九丁目

木津與四郎齒科院

四條通十一丁目
電話四二七六番

内科 辻病院

電話二八四三番

外科

勝木外科醫院

醫學博士 勝木 任
四ノ九郵便局前
電話二七三九番

小兒科 吉岡病院

五條通九丁目
電話三八六六番

金谷齒科醫院

二條通十二丁目
日本齒科醫學士 金谷助松

チフテリイ患者
隔離病舎ノ設備アリ

耳鼻咽喉科 大橋病院

院長醫學博士 大橋
電話二一七〇番

内科小兒科 河合醫院

三條通十丁目
電話二八五二番

内科 竹原病院

二條通二丁目
電話二六一一

旭川肛門病院

電話二五八四番

耳鼻咽喉科 大久保病院

三條通九丁目
電話二九五五番

内科小兒科 吉田病院

五條九丁目右五
電話二九七五番

高橋齒科醫院

三條通十三丁目
電話三〇四九番

七條通八丁目右二號

小原內科醫院

醫學博士 小原敏雄
電話二八九〇番

内科 小兒科 和田醫院

四條通十五丁目
電話二八一二番

旭川 松村(勝)吳服店

二條通 電話二二三二番
三條通 電話二六九一
通 電話二六九一

病。醫院。

今野齒科醫院

三條通十五丁目
電話二五三六番

内科 小兒科

小野寺醫院

三條通十六丁目
電話二六二三番

小兒科 内科

菱山醫院

一條通二丁目
電話三七三五番

甘糟内科醫院

四條通九丁目
電話三三三四番

耳鼻咽喉科

大平醫院

五條通十丁目
電話二〇六一

内科 小兒科

谷口病院

大町三丁目
電話三〇〇七

内科 小兒科

星野醫院

一條通九丁目
電話二一〇三

淺倉齒科醫院

一條通七丁目
電話三〇八〇

岩田眼科病院

四條通十一丁目
電話二九九八番

鈴木醫院

院長 鈴木重高

一條通十六丁目
電話二七八〇番

北海齒科醫院

一條通七丁目
電話三一九三

産科婦人科
東郷病院

一條通九丁目
電話二二四六

入山齒科醫院

一條通九丁目
電話二六九六

折居醫院

一條通十一丁目
電話二七六一番

渡邊病院

旭町四丁目
電話二五一〇番

富山眼科病院

四條通九丁目
電話二四五〇

加藤齒科醫院

二條通九丁目

……酒おな徳……

一 下 一 ゴ

市川旭

會社式株精酒同合

佛壇部

銅器部

神佛佛神佛神
 與檀檀佛神殿
 錦寺金神佛神
 地院銀簾檀檀
 紗用屏神金佛
 類具風鏡物具
 宣各國德火鉢
 床各置鐵火鉢
 薄床各置鐵火
 七寶端置鐵火
 半鐘寶端置鐵
 花鐘寶端置鐵
 額梵花花香鐵

銅鐵佛佛
 鑄鑄鐘鐘
 器瓶造造
 檀物檀
 寺佛
 神佛
 製神寺佛
 造所與物檀

卸問屋

十

宮川本店

宮川重藏

旭川市二條通十一丁目
 電話一三二一
 振替水一〇八八八



昭和十年八月十日印刷納本
 昭和十年八月二十日發行

旭川市四條通十一丁目左六號

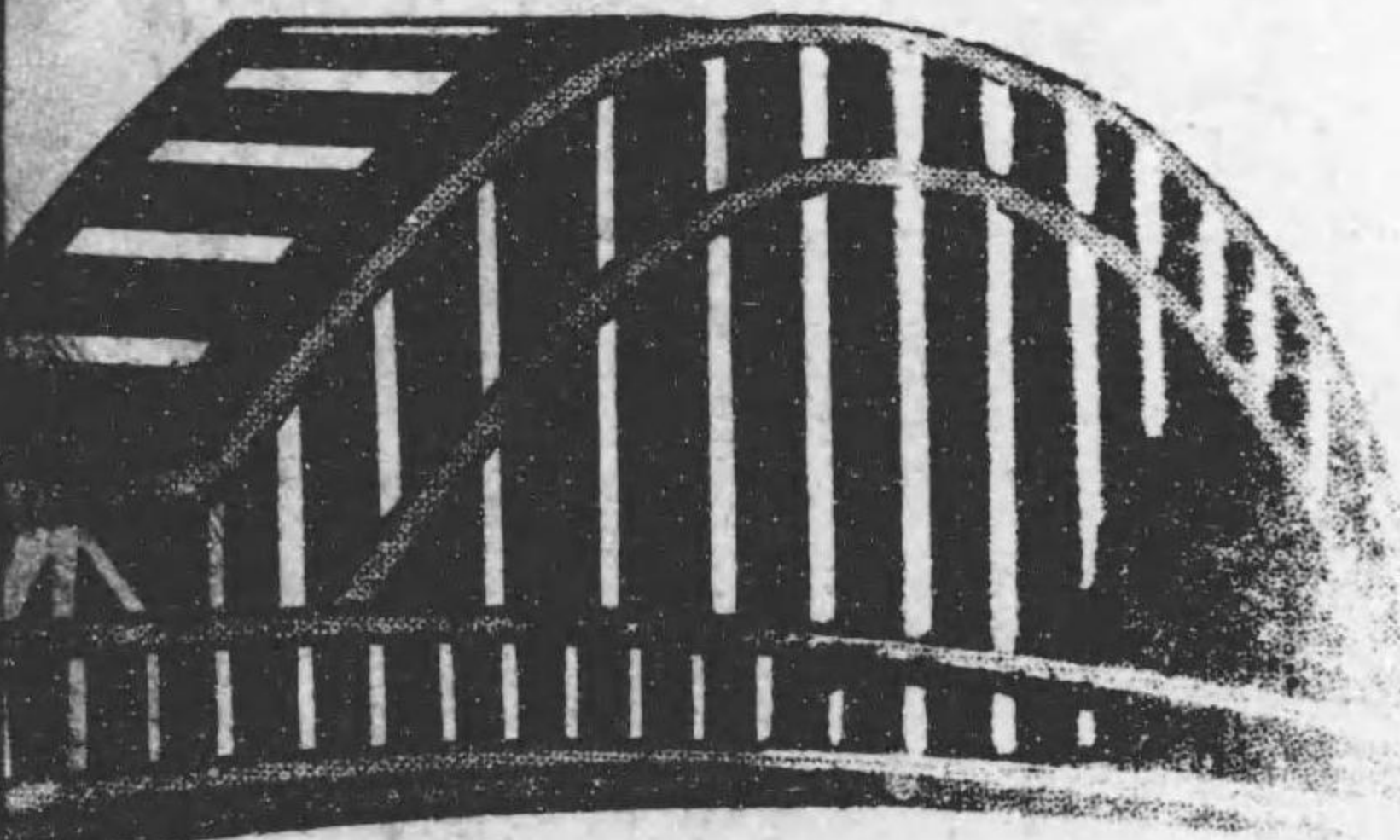
編輯兼發行人 木津正雄

印刷所 旭川市二條通十三丁目左一號 光進堂印刷所

印刷者 旭川市二條通十三丁目左一號 赤池善一

發行所 旭川市五條通十一丁目 北日本日事業部

終



代理御有利の
之日出式無盡
之日出無盡株式會社
旭川市三條十一丁目
電話三〇一〇番